

貴帝第七十六回 國議院會議事記錄第一

第七十六回

國民防衛組合法案特別委員會議事處記錄第一號

昭和十六年二月二十四日(月曜日)午前十時十分開會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイト
認メマス、左様致シマス

○子爵梅園篤彦君 ソレデハ先ヅ國民貯蓄組合法案ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイト思

ビマノ國民貯蓄組合ニ通シテ 貯蓄ハ十
五億圓ニ達シテ居ルト云フコトデゴザイマ
スガ、其ノ内譯ハドウ云フ風ニナツテ居リ

マスルカ、先づ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、
次ニ本法第二條第一項ニ簡易生命保険ノ
保険料ノ拂込トアリマスルガ、此ノ簡易
保険ノ計算ハナカヽ面倒デアルト思ヒマ
ス、從ツテ是ガ爲ニ特定郵便局ノ從事員ノ問
題ナンカモ起ルコトト思ヒマスルノデ、是
等ノ點ニ付キマシテノ御所見ヲバ伺ヒタイ

ト思ヒマズ
○政府委員(栗原修君)　只今ノ御質問ニ對シテ御答へ申シマス、國民貯蓄組合ノ貯蓄ノ狀況、其ノ内譯ハドウ云フコトニナッテ現ハレテ居ルカト云フコトデゴザイマスルガ、只今御手許ニアリマスル資料デハ數縣ノ統計ガ含マレテ居リマセヌ爲ニ合計額ガ

十五億圓ニナツテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於キマシテ趨勢ハ同ジコトデアラウト存

ジマスルカラ、ソレニ依リマシテ御答ヲ申

上ヶマヌ、細カク申上ヶマヌト云フト、ナ
カナカ項目ガ多ウゴザイマスカラ、『ハ』

セシテーデ」ヲ取りマシテ申上ゲテ見タ

イト思ヒマス郵便貯金が三九・八パーセント、ト信用組合貯金が一八・二パーセント、

銀行預金ガ一三・三「パーセント」、金錢信

託ガ〇・五
ハ「セント」、無盡會社ヘノ掛
金ガ〇・四
ハ「セント」、生命保険會社ヘ

ノ保険料ノ拂込ガ一・七「ペーセント」、其

ノ他ガ四・九「ペーセント」、ソレカラ國債
特許債券、報國債券、其ノ他ノ債券ヲ保有

致シテ居リマスル額ガ一一・二「ペーセント」

ト云フコトニ相成ツテ居リマス、次ニ簡易生
命保僉ノ保僉料ノ拂入ト云フコトガ國民野

蓄組合ノ幹旋スベキ貯蓄トナツテ居ルガ、其

ノ爲ニ特定郵便局ニ何等カノ影響ハアルカ
ナイカト云フ點デゴザイマスレガ、國民特

蓄組合ノ斡旋ヲ致シマスル貯蓄ハ大體ニ於

キマシテ二ツノ方法ヲ今考ヘテ居ルノデゴ
デイマスガ、一ツ、金融幾翻、租賃トノ

サハマスガ一ツハ金剛機関口組合員ノ
間ニ立チマシテ、組合ノ代表者ガ拂込或ハ

預入斡旋ヲ致ス場合デアリマス、モウ一ツハ

組合ノ代表者が組合ノ拂込金ナリ、預金ナ

ニ斡旋ヲスル場合デゴザイマス、簡易生命

保険ノ保険料ノ拂込ヲ爲ス熊様ニ付キマシ

テハ、御承知ノヤウニ取纏メマシテ郵便局
ノ窓口ニ持ツテ參リマス場合、ソレカラ郵便

第四部第二十九類 國民狩獵組合法案特別委員會議草速記錄第二號

貴族院

ノ關係モゴザイマシテ、或ハ千圓迄上ヶルト云フコトガ全然影響モナイト云フヤウナ見極メガ付ク迄ハモウ暫ク様子ヲ見タイト云フ考ヲ以チマシテ、今回ハ引上げノコトヲ考慮致サナカツタ狀況デゴザイマス
○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明デハ七百圓ニ引上げタノハ極ク最近デアルカラ、マダ其ノ實績ニ付テ十分調査、研究ガ出来テナイ、之方爲ニ……又一方民間保險業者トノ關係モアルカラ引上げヲ見合ハシタイト云フヤウニ伺ッタノデアリマスルガ、私共考ヘマスルト、此ノ貯蓄獎勵ト云フコトニ大イニ力ヲ入レテ居リマスル際ハ、サウ云ツタコトニ因ハレル必要ハナインヂヤナカラウカ、七百圓ニ引上げタ其ノ實績ト云フヤウナコトヨリモ、只今ノ處、郵便貯金ノ最高額デスマ二千圓ヲ三千圓ニ引上ゲル必要ガアルト云フノデアルナラバ、矢張リ貯蓄獎勵ト云フ意味カラ申シマシテ、簡易生命保険ノ最高額ヲモ七百圓カラ千圓迄僅カ三百圓位ヲ引上げラレルト云フコトハ、是ハ當然デハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、尙一應其ノ點ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(栗原修吾) 詳細ナコトニ付キマシテハ、是ハ厚生省ノ所管ノ政府委員カラ御答シタ方ガ適當デナイカト思ヒマスノデ、左様御承知ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマスマ委員長(伯爵堀田正恒君) アトデ宜シウゴザイマスカ

云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、恐ラク
是等ガ原因致シマシテ、昨年ノ十一月、十
二日頃ニハ全國的ニ貯蓄ガ減少シタノデハ
ナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス
ガ、果シテ實際左様ニ減少シタモノデゴザ
イマセウカ、減少シタストレバドウ云フ程
度ニ減少シテ居リマスルカ、御説明ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、尙此ノ信用取引ノ助長ト
カ、貯蓄ノ獎勵トカ、云フヤウナ政策ヲバ
完全ニ之ヲ遂行スルト云フコトハ、ナカノ
困難ナ問題デアリマスルガ、之ニ付キマシ
テ御所見ノバ、大藏次官カラ御伺ヲ致シタイ
ノデアリマス、尙又不動資金トカ、睡眠資
産ト言ツタヤウナモノデ、之ヲ苟クモ貯蓄ニ
振向ケ得ルト云フヤウナ資産ハドノ位アル
御見込ミデアリマセウカ、ソレヲ合セテ伺
ヘバ幸ヒト思ヒマス

マジタ其ノ結果、租税ノ動キが昨年ノ下半期ニ比較的短期間ニ毎回……毎月ト申シマスカ、非常ニ間隔ヲ狭メマシテ拂込ノ回數ガ多クナツタノデアリマス、即チ政府ニ於テ民間ニ於キマシテハ、政府ヘ納稅ヲスル爲ニ預金ヲ致ス暇ガナカツタ、斯ウ云フコトモ一ツノ原因ニナツタト思ハレルノデアリマス、ソレニ加ヘマシテ、最モ大キナ原因ト思ハレマスノハ、政府ノ支拂ガ一時延滞ト申シマスカ、サウ云フ状態ガ起ツタノデアリマス、ソレハ昨年ノ春頃デアリマシタカ、御承知ノヤウニ陸軍ノ軍デ註文致シマスモノニ對シテ非常ニ細カイ原價計算規則ヲ出シマシタ、其ノ規則ガ行キマシテ後、各管理工場ニ出張ツテ居リマス所ノ支出官等ニ於キマシテ、是等ノ規則ト照シ合セテソレヲ研究致シ、サウシテ支拂ヲ致スト云フヤウナコトノ爲ニ大分支拂ノ時間ガ延ビタト云フ事態ガアツタノデアリマス、サウ云フ事態ガ重ナリ合ヒマシテ、此ノ最後ニ申上ゲタノガ金額的ニハ一番大キナ原因デアツタト思フノデアリマスガ、ソレガ爲ニ政府ノ資金ノ撒布ガ上半期ニ比較シテ、下半期ニ於テハ上半期ノヤウナ勢ニ増加シナカツタト云フコトデアツタノデアリマス、其ノ結果銀行預金ハ餘リ上半期ノヤウナ増加ノ情勢ヲ示サナカツタ云フ結果ヲ來シタノデアリマス、尙三國同盟ノ發表以來、國際情勢ニ對シマスル民心ノ多少不安ト申シマスカ、サウ云フコトモ相當アツタヤウニ思ハレルノデアリマス、是等ノ事情ガ重ナリ合ヒマシ

蓄ノ状況ハ香シカラザル状況デアッタノデ
アリマス、ソコデ政府ニ於キマシテハ、色
色ノ方面ノ意見ヲ聽キマシテ、一方ニ於キ
マシテハ、輸出ノ振興ニ付キマシテモ相當
ノ考慮ヲ拂ヒマシテ併シナガラ何ト云ツテ
モ最大ノ原因ハ、政府支拂ノ遲延ト云フコ
トニアルト云フコトヲ感ジマシタノデ、軍
ノ當局ト交渉致シマシテ、支拂ノ促進方ヲ
申シ出タノデアリマス、軍ニ於キマシテモ
之ヲ諒トセラレマシテ、十月ノ初メ全國
ノ各支出官ニ對シマシテ通牒ヲ發シマシテ、
支拂方ノ促進ニ付テ注意ヲサレタノデアリ
マス、其ノ結果ト致シマシテ、十月ノ末頃
カラ軍ノ支拂ガ相當増加致シマシタ、デア
リマスカラシテ、十月ノ末頃カラ段々ト銀
行預金其ノ他國民貯蓄ノ状況ハ良クナリマ
シタ、十一月ニナリマスルト、銀行預金ノ
如キハ全ク平常狀態ニ復シタノデアリマス、
即チ昨年ノ十一月ト一昨年ノ十一月ト較ベ
マスト、増加額ノ絶對數ニ於テモ増加ヲ致
シタノデアリマス、昨年ノ方が増加ヲ致シ
タノデアリマス、十二月ニ至リマスト、年
末ノ關係モアリマンタガ、軍ノ支拂額ハ賛
通ノ月ノ二倍以上ニ達シタノデアリマス、
從ヒマシテ、銀行預金モ非常ニ激増ヲ致シ
マシテ、定期預金ダケデモ十二月中ニハ十
一億ヲ増加ヲ來シタノデアリマス、一昨年
ノ十二月ハ八億ハ増加デアッタノニ對シテ、
昨年ノ十二月ハ十一億、其ノ外ニ當座預金
ノ増加モ非常ニ著シイモノガアリマシタ、
從ヒマシテ十二月ノ月末、即チ年末ノ現在
ニ於キマスル國債ノ消化率其ノ他ノモノハ
餘リ成績ガ良クアリマセヌデンタケレドモ、
本年一月ヘ是等ノ金ガ引續キ餘裕アル狀態

ニナツテ、本年一月ニ入リマシテハ國債ノ消
化ノ如キ、モ本年ノ一月ハ非常ニ良クナツテ來
テ居リマス、即チ色々ノ現象ナリ原因ノ爲
ニ、國民貯蓄ハ昨年ノ秋頃一時停頓ハ致シマ
シタケレドモ、其ノ後段々トソレ等ノ原因
ガ取除カレタコトニ依リマシテ、最近ニ於
キマシテハ再び頻調ナル状態ニ復シタ尔斯
ウ申シ得ルカト思フノデアリマス、ソコデ
今後ニ於キマス政府ノ考ト致シマシテハ、
先ヅ第一番ニ國民貯蓄ヲ阻碍スル所ノ最大
ナル原因ハ、民心ヲ安定セシメルコトガ、
先ヅ第一番ニアラウト云フコトヲ考ヘマシ
テ、今回總動員法ノ改正ニ當リマシテモ、
十一條ニ於テ其ノ點ヲ考慮致シマシテ、從
來ノ規定ノ外ニ必要ノアル場合ニ於キマシ
テハ、政府ハ債務ノ引受又ハ保證ヲナシ得
ルト云フ條項ヲ入レテ御協賛ヲ仰イダコト
ハ御存ジノ通りデアルト思フノデアリマス
ガ、是等ノ如キ有事ノ場合ニ財界ノ混亂ニ
善處致シマスト共ニ、國民ニ對シテ貯蓄ト
云フモノニ對スル、如何ナル場合ニ於テモ
貯蓄ニ對シテ不安ノ念ヲ懷カシメナイト云
フ用意ヲ致シタ次第アリマス、サウ云フ
風ニ一方ニ於テ考ヘマスト同時ニ、本年度
ニ於キマシテハ、政府ノ支拂ニ付キマシテ
ハ、計畫的ニ一つ考慮ヲ致シタイ、即チ政
府ノ資金ノ撒布ト政府ノ資金ノ引上トノ關係
ヲ考慮致シマシテ、政府ノ資金ノ引上ノ
多イヤウナ時ニハ、政府ノ資金ノ撒布モ矢
張リ之ニ對應致シマシテ多カラシメルヤウ
ニ計畫ヲ致シ、特ニ軍ノ支拂等ニ付キマシ
テハ、密接ナル關係ヲ大藏省ガ執リマシテ
昨年ノ如キ状態ヲ現出シナイヤウニ、本年
ハ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ラ次第アリマス、尙最後ニ御尋ノ民間ノ

睡眠不動資金ト云フ御話デゴザイマスガ、
是ハナカノ測定ノ困難ナ問題デアリマシ
テ、最近兌換券ヲ膨脹致シ、通化ノ流通高
ノ非常ニ多イノハ、是ハ梅園子爵ノ先程御
指摘ノ通り、取引方法ノ變化ヲ致シタト云
フコトニ依リ、通貨ノ需要ガ増加シタト云
フコトガ、最大ノ原因デアルト思ヒマス、
ソレカラ今一つハ、先程チヨット申上ゲマシ
タ所謂此ノ民心ノ不安定ニ基ク通貨ノ死藏
ト申シマスカ、サウ云ツタコトガ、多少アル
ンデハナイカト云フヤウニ感ゼラレマス、
併シ是ハドノ程度ニアルカト云フコトガ、
的確ニ抑ヘ得タ譯デハゴザイマセヌ、ソコ
デ政府ノ方針ト致シマシテハ、先程カラ申
上ゲマシタヤウニ、之ニ對スル最大ノ適策
ト致シマシテハ、民心ノ不安ヲ除去スル、
サウ云フコトニ依ツテ漸次此ノ民間ニ死藏
サレテ居リマス通貨デアリマストカ、或ハ
當然貯蓄セラルベキモノニシテ貯蓄セラレ
ナイヤウナモノハ、是等ノ政府ノ對策ニ依ツ
テ、漸次銀行等ニ預金、貯金等ノ形ニ於テ
貯蓄セラル、デアラウト云フ風ニ考ヘテ居
ル次第デゴザイマス

次ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスノハ、強制貯蓄制度ハ御採用ニナラナイト云フヤウニ
聞イテ居リマスガ、現在ノ町内會トカ、部落會トカデ、或程度ノ割當貯蓄ヲバヤッテ居
ル所ガ、隨分多イノデアリマス、然ルニ本法第二條ニ於キマシテ、郵便貯金以下諸種ノ貯
蓄ノ幹旋ヲ爲サシムルト云フコトニナッテ
居リマスカラ、勢ヒ是ガ或程度ノ強制貯蓄
制度へ移行スル前提ト申シマスルカ、階段ト
申シマスルカ、ニナル虞ガアルノデヤナイ
カト云フヤウナ一抹ノ疑ヲ私ハ持ツノデアリ
マス、ソレデ念ノ爲ニ伺ヒタインデアリ
マスガ、政府ハ將來共ニ強制貯蓄ハ絶対ニ
採用シナイト云フ御考デアリマスカドウ
カ、此ノ點ヲバ伺ッテ置キタイト思ヒマス、
又其ノ強制貯蓄制度ヲ假ニ實施スルト致シ
マシタナラバ、公債ノ消化トノ關係ガナカ
ナカ面倒グラウト思ヒマス、斯ウ云々タコト
ニ付テノ影響ナンカニ付キマシテ、併セ
テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ハル、コトガ最モ自然デアリ、又最モ效果的デアラウト存ズルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ、斯ウ云々タヤウナ方法ニ依テ國民貯蓄が漸次普及スルト云フコトヲ、政府ト致シマシテハ、望ンデ居ル次第デゴザイマス。

○子爵梅園篤彦君 假定ニ對シテ御説明ヲ願フコトハ甚ダ恐縮デアリマスガ、今最後ニ伺ヒマシタ強制貯蓄制度ヲ實施シタ場合ニ、公債消化ニドウ云フ影響ヲ及スカト云々タ關係ニ付テ御所見ヲ伺ヒタ伊思ヒマスマスル場合ニ於テ國債ノ消化ニドウ云フ影響ヲ及スカト云フ御尋カト思フノデアリマスルガ、是モ先程御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、國債ノ消化ヲ強制スルト云フコトニナリマスルト、寧ロ今日ノヤウナ成績以上ノ成績ヲ擧げ得ルカドウカト云フコトニ付テ私共懸念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、政府トシテ國債ヲ強制スルト云フ場合ニ於キマシテハ、一應何等カノ標準ニ依ツテ國債ヲ持タセルト云フコトニナルト思フノデアリマスガ、其ノ標準ノ範圍内迄ハ一應ハ消化サレルデアリマセウ、ケレドモ、ソレガ餘程實情ニ副ウタ方法デ強制致シマセスト、忽チ其ノ持タセラレタ國債ト云フモノヲ賣リ放ット云フコトニ付テ色々ナ方法ニ行ハレマシテ、延イテ國債ノ圓滑ナル消化ト申シマスカ、健全ナル消化ト申シマスカ、サウ云々タコトニハナラヌノヂヤナイカ、從ヒマシテ國債ノ強制貯蓄ト云フコトハ、餘程困難ナ問題デアリマスト同時ニ、ソレヲ行フコトノ結果、或程度ノ幣害ガ生ズル虞ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

標ハ百二十億圓ダッタ云フヤウニ記憶致シテ居リマスルガ、其ノ實績ハドウ云フ風ニナツテ居リマスルカ、又十六年度ノ貯蓄目標ハ幾ラニ置イテオイデニナルデセウカ、併セテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、兎モ角百二十億圓、百三十億圓ト云フヤウナ厖大ナ貯蓄目的ヲバ完遂致サウトスル場合ニハ、其ノ手續デアルトカ、届出デアルトカ云フコトハ、成ルベク之ヲ簡易ニスル必要ガアルト考ヘマス、然ラザレバ却テ逆效果ヲ生ズル虞ガアルト信ジマス、然ルニ本法ニハ第三條、第七條ニソレトヽ是等ノ規定ガアリマス、是ハ實際ノ運用ニ當ツテ、餘程手加減ト申シマスカ、緩和スル必要ガアルト考ヘルノデアリマスルガ、サウ云ッタ手加減ナリ、緩和ナリヲバセラレル御考デアリマスルカドウカ、其ノ點モ併セテ御説明ラ願ヒマス

資金ガ四十億、尙他ノ二十億ハ日本銀行ノ持ツテ居リマスル所ノ國債ヲ、民間ニ於テ更ニ消化シ、同時ニ生産力擴充資金ノ供給ニキマシテハ、國債ハ或ハ目標ノ六十億近ク餘力ヲ持タセヨウト云フノガ、大體ノ目標ハ行クカト思ヒマスケレドモ、此ノ生産力擴充資金ノ方ガ當初四十億ト云フ風ニ考ヘテ居リマシタノガ、其ノ後色々ノ關係ニ於キマシテ六十億バカリハ必要ヲ生ズルニ至ツタノデアリマス、ソレデ本年度ノ結果ト致シマシテハ、恐ラク生産力擴充資金ノ方面ニ於テ、即チ株式投資社債等ニ於キマシテ六十億以上ノ實績ヲ示スデアラウト思フノデアリマス、サウシテソレニ國債ノ消化ガ五十億乃至六十億ト、サウ云フ結果ニナルノデアリマシテ、當初ノ日本銀行ノ手持ノ背負込ミノ國債ヲ更ニ消化スルト云フコトハ、生産力擴充資金ノ需要ガ二十億ダケ多クナシタグケ、目的ハ達セラレナカッタト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、是ハ十五年度ノ現狀ト致シマシテハ、已ムヲ得ザル所デハナイカト云フ風ニ存ゼラレルノデアリマス、昭和十六年度ノ貯蓄目標ハ大體百三十五億ヲ目標ニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、尙此ノ點ニ付キマシテハ、御承知ノ國民貯蓄獎勵委員會ト云フノガゴザイマスノデ、本議會ガ終了致シマスル時分ニハ、此ノ委員會ニ更ニ諮詢ヲ致シマシテ、最後的ナ決定ヲ致シタイト存ジテ居リマスガ、大體其ノ程度ノ目標ヲ揚ゲル必要ガアルト考ヘルノデアリマスガ、大體之ヲ七十五億トレルノデアリマスガ、其ノ内容ハ國債抑ヘマシテ、生産力擴充資金ガ六十億、十ガ十六年度ニ於テ七十五億七千萬圓發行サ

六年度ニ於テモ必要デゴザイマスノデ、之ヲ併セマスルト丁度百三十五億ト云フコトニナルノデアリマスデ、昭和十六年度ニ於テハ大體貯蓄ノ目標八百三十五億ヲ目標トシテ參ルト云フコトニナルノデアリマス、十五年度ニ於テ大體百二十億ヲ突破致スト度ノ百三十五億ノ貯蓄目標モ國民ノ協力ヲ得マシタナラバ、勿論達シ得ラレルト云フ風ニ、政府ノ方デハ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、尙後ノ御質問ノ點ハ貯蓄獎勵局ノ次長カラ御説明致シマス

○政府委員(栗原修君) 第三條ト第七條ノ運用ニ付テ御尋デゴザイマスルガ、第三條ニ於キマシテハ、國民貯蓄組合ノ助成並ニ監督上ノ必要カラ致シマシテ、組合ノ代表者ニ届出ノ義務ヲ課シタモノデゴザイマス、即チ組合ガ成立シタ時、組合規約ノ變更アツク時、組合ノ解散シタ時ト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、組合ノ代表者ニ届出ノ義務ヲ命ジタノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ附加ヘテ御説明申上げマスガ、大體ニ於キマシテ國民貯蓄組合ニ對シマシテハ現狀ヲ尊重スルト云フ見地カラ致シマシテ、或之ニ對シテ非常ニ面倒ナル手續ヲ課ス、或ハ特別ニ法律關係ヲ設定スル、法人格ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲ致シマセヌデ、既ニ發達ヲ致シテ居ル五十萬ヲ超エル所ノ此ノ組合ノ現狀ト云フモノヲ尊重シ、此ノ監督助成ノ必要ノアル以外ノコトニ付キマシテハ、多クノ義務ヲ課スルト云フコトハ避ケマシタノデゴザイマシテ、茲ニ決メテアリマシタノハ、只今申シマシタヤウナ最小小限度ノ必要事項ニ付キマシテ、届出ノ義務ヲ講ジテ居ルノデアリマス、從ヒマシ

テ、第七條ニ於キマシテ、此ノ組合ノ代表者ニ對シテ、種々ノ報告ヲ爲シ、又ハ帳簿ヲ備付ケシメル、之ニ對シマシテ、イマスガ、併シナガラ此ノ點ニ付キマシテモ、只今申シマシタヤウナ見地カラ致シマセヌ、徒ニ煩瑣ナル報告ヲ徵シタリ、或ハ帳簿書類ノ備付等ニ付キマシテモ、新シイ數値ノ義務ヲ課スルト云フコトヲ致シマセズ、之モ只今ヤツテ居リマス所ノ年ニ四回報告ヲ徵スル、或ハ組合員ノ名簿ヲ備付ケシメルト云フヤウナ程度ニ止メマシテ、唯監督上必要ト認メマシタ場合ニハ實地ノ検査ヲシ、サウシテ組合員ノ十分ニ安心シテ貯蓄ヲナサシメルト云フヤウナ方策ヲ執ル、又組合ノ代表者ニ致シマシテモ、法規ニ反スルトカ、或ハ公益ヲ害スルト云フヤウナコトノアリマシタ場合ニハ、之ニ對シテ改任ヲ命ズルト云フコトニ致シタノデゴザイマシテ、其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトガ出来マスケレドモ、之モ只今申シマシタヤウナ趣旨ニ依リマシテ運用シテ行キタイト存ジテ居ル次第ゴザイマス

○委員長伯爵堀田正恒君 梅園子爵ニチ
ヨット申上ゲマス、先程御尋ノコトニ付、
バ希望ヲ申シテ置キマス、次ニ國民更生金
庫法案ニ付テ……

○政府委員(前田櫻君)　此ノ時局下ニ於キ
　マシテ、保険ノ最高金額ヲ七百圓カラ千圓
ニ引上ゲテ、ソレニ依テ貯蓄獎勵ヲヤッテ
行ク方ガ宜イデヤナカト云フヤウナ御話
ガアツタヤウデアリマシテ、ソレニ對シマシ
テ獎勵局次長カラ御答辯ガアツタヤウデア
リマスガ、ソレニ附加ヘマシテ、私ヨリ今
回ソレヲ引上ゲナカッタ云フ理由ヲ敷衍
致シマシテ、御説明申上ゲタイト思フノデ
ゴザイマス、私共簡易保険ノ當局ト致シマ
シテハ、時局下ニ於キマシテ經濟狀態ノ水
準ノ高マツテ居リマスル際ニ、假令薄資階級
ヲ對象ト致シテ居ル簡易保険ト致シマシテ
モ、七百圓デハ十分デナイ、之ヲ適當ナ處
迄引上ガタイ、サウ云フ風ニハ考ヘテ居リ
マス、又ソレヲ成ルベク早クヤリタイト考
ヘテ今著々研究ヲ致シテ居ルノデアリマス
ガ、御承知ノ通リ簡易保険ハ郵便貯金トハ
違ヒマシテ、相當計算ノ上ニ根據ヲ置イテ
計畫ヲ致サナケレバナラヌノデゴザイマシ
テ、四百五十圓カラ七百圓ニ引上ゲマシタ
時、其ノ時カラ以後ノ死亡率等ニ付キマシ
テモ能ク調査致サナケレバナラヌノデアリ
マスガ、何ヲ申シマシテモ、實施致シマシ
テカラマダ二箇年シカ經ツテ居リマセヌノ
デ、銳意研究ヲ致シテ居リマスルガ、尙詳
細ナル研究ガ出來テ居リマセヌト云フ關係
ガゴザイマスノト、尙千圓ニ引上ゲマシタ
時ニハ民營ノ保険ト相當競合スル點モ出テ

參リマシテ、相當民營保險ニ影響スルノヂ
ヤナイカト考ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマ
シテハ商工省ノ方面ニ於キマシテモ民營保
險ノ統合ト云フヤウナコトニ力ヲ致サレテ
居ルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウニ大
會社ガ小會社ヲ統合スルト云フヤウナコト
ガ實現ガ致シマシテ、私共ノ方ノ保険ノ最
高金額ヲ引上ゲマシテモ、民營保險ニ影響
ガサウナイト云フヤウナ見込ガ出來マシタ
時ニ、私共ハ引上ゲタイト云フ風ニ考ヘテ
居ルノデアリマシテ、今現在死亡率等ニ付
テハ銳意研究致シテ居リマスルノデ、サウ
云フヤウナ研究ガ出來マシタ曉ニ於キマシ
テハ、出來ルダケ早ク引上ゲテ御趣旨ニ副
ヒタイモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマ
ス

モノノヤウナ不成績ヲ招クト云フヤウナコトハナイトハ思ヒマスルガ、併シ其ノ貸付手續等ノ簡易敏速ヲ圖ラナイ限りハ、矢張リ不成績ヲ招ク虞ガ多分ニアルト思ヒマスルテ茲ニ貸付手續等ノ簡易敏速化ヲ如何ヤニシテ御圖リニナルカト云フコトヲバ先ケラレルト云フコトデアリマスルガ、ソレ等ノ支所、出張所ニ對シテ、貸付事務ノ簡易敏速ヲ圖ル爲ニ、其ノ貸付ニ對シテ相當額ノ裁量ヲ委任セシメルト云フ必要ガアルト考ヘマスルガ、左様ナ御考ヘヲ御持ニナツテ居リマスカドウカ、又左様ナ御考ヘガアリト致シマシタナラバ、其ノ金額ノ限度ハ幾何デアリマスルカ、ソレモ併セテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

ノ從來カラアリマシタ組合等ニ於テ十分ニ
調査ヲ致シテ、ソレカラ資產評價委員會デ
定メル譯デアリマスデ、殆ド銀行等ガ平常
最モ苦心ヲ致シ、又調査ノ爲ニ時間ヲ費シ
タデアラウ所ノ仕事ガ大抵ハ此ノ資產評價
委員會ニ於テモウ内容ガ定ツテシマフト云
フコトニナリマスノデ、ソレカラ後金庫ニ
於テハ更ニ評價委員會デ定メマシタ人數ナ
リ、或ハ各人ノ資產ノ内容ナリヲモウ一遍
金庫トンシ調べ直スト云フコトハ、今度ハ
ヤラナイ積リデアリマス、從ヒマシテ要ス
ルニ評價委員會ノ議決ノ内容ト云フモノヲ
直チニ採上ゲテ、ソレカラ後ト云フモノハ
資金ノ貸出、或ハ擔保物ナリ、或ハ管理ヲ
スペキ對象物ヲ如何ニシテ管理シ、保管ス
ルカト云フコトガ此ノ金庫ニ課サレタ仕事
ニナル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ
此ノ點ハ從來ノ金融機關トハ非常ニ行キ方
ガ違ツテ居リマスノデ、評價委員會ガ定メタ
後ノ貸付業務ト云フモノハ相當敏速、簡易
ニ行ハレルト信ジテ居ル譯デアリマス、尙
第二ハ出張所等ニ對シマシテドノ程度ノ權
限ヲ與ヘルカト云フ御尋デゴザイマスガ、
是ハ只今申上ゲマシタヤウナ狀態デアリマ
スカラシテ、大體此ノ評價委員會ノ決定ガ
アリマスレバ其ノ決定ノ内容ニ基イテソレ
ヲ實行スルヤウニト云フコトヲ各出張所等
ニ申シテヤルコトニナリマスノデ、出張所
等ニ於キマシテモ、事柄其ノモノガ、出張
所ノ責任ニ於テ信用ヲ調査シ、或ハ擔保物
ノ内容ヲ検査スルト云ッタヤウナ必要ハ少イ
ノデゴザイマスカラ、自ラ出張所ノ致シマ
スコトモ簡單ニナルト思フノデアリマス、
從ヒマシテ、今後出張所ニ對シマシテハ、サ

ウ云フ意味合ニ於キマシテ、相當權限ハ大
キクナル譯デアリマス、要スルニ、今度ノ
國民更生金庫ノ考ヘ方ハ、本所、支所ニ於
仕事ヲ致シマシテ、サウシテ資金ヲ融通シ、
擔保ヲ保管スルト云ツタヤウナコトハ、總テ
出張所等ニ實行的ナ行爲ハサセル、斯ウ云
フ建前デゴザイマスノデ、此ノ金庫ノ固有
ノ資金融通等ノ仕事ハ、殆ド全部出張所
權限ニ屬スルト云フコトニ致シタイト考ヘ
テ居ル次第アリマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 將來必要ガアルト致
テハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ、將來ニ付
金庫法ヲ亦朝鮮、臺灣ニ於テ施行スル必要
ガアルカト思フノデアリマスガ、將來ニ付
矢張リ外地ニ於テハ行ハナイト云フ御考デ
アリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス
ト思ヒマスレバ、外地ニ對シテ之ヲ施行致
シテモ宜イト思ヒマス、唯御存ジノヤウニ、
此ノ國民更生金庫ノ仕事ヲ致シマス際ニハ、例ヘバ朝鮮ナ
國庫ノ負擔ガ非常ニ大キイノデアリマス、
從ツテ外地デ致シマス時ニハ、
ラバ朝鮮總督府特別會計ニ於テ朝鮮分ハ負
擔ヲスル、臺灣總督府特別會計ニ於テ色々ノ
負擔ヲスルト云フノガ當然デアルノデアリ
マスガ、只今提出シテ居リマスル追加豫算
ニ於キマシテハ、外地ノ特別會計ニ於テハ
斯クノ如キ計畫ガゴザイマセヌノデ、是ハ
差當リ直チニ致スト云フコトハ困難カト思
ヒマス、將來必要ガ生ジマシタ場合ニハ、
適當ニ政府ト致シマシテハ善處致シタイト
考ヘテ居ル次第アリマス

ナル例ガ多々アルモノデアリマスカラ、甘ノ點ヲ敏捷ニスル爲ニ、地方ノ評價委員ニ決定權ヲ御與ニナルトカ何トカ云フ方法ダト、早ク運ブト思フノデゴザイマス、モウ經ツテ居ルコトデゴザイマスシ、デスカラ、其ノ邊ノ手續ヲ御計畫モアルノグラウト田ヒマスガ、少シ細カイコトデアリマスガ、其ノ評價委員ノ内部ノ手續順序ハドウ云フ順序ニナサイマスカ、伺ヒタイト思フノデアリマス

レデ愈、決リマシタ場合ニ、地方廳ニ申出
マスト、地方廳ニハ囑託員ト致シマシテ
三十名位、東京、大阪ト云フヤウナ大キ
所ハモウ少シ殖ヤシマスケレドモ、大體ニ
十名位ノ調査員ヲ置キマシテ、是ハ業者ズ
アリマスルトカ、金融關係ノ人アリマ
ルトカ、資產評價ト云フコトニ付キマシテ
見識ヲ持テ居ル人ヲ囑託シテ置キマシテ
其ノ調査員ガ轉廢業ヲスペキ業者ノ所ニ登
リマシテ資產ノ評價ヲスル、ソレヲ長官ニ
報告致シマスト、長官ガ大體意見ヲ決メ
シテ、ソレヲ評價委員會ニ諮問スルト云
形ニナシテ居リマス、評價委員會ニハ矢張ル
業界ノ關係者ニアリマスルトカ、商工會議
所ノ關係者ニアリマスルトカ、金庫ノ關係
者ニアリマスルトカ、此ノ評價ト云フコト
付テ適當ト思ハレル人ヲ委員トシテゴボ
イマス、其處ニ審査ヲ致シマシテ、其ノ結果
果ヲ長官ニ報告致シマシテ、サウシテ長官
ガ最後的ニ決定ヲスル、斯様ナ運ビ順序ニ
動カス積リデ居リマス

スルニ付テノ基準ニナルヤウナ事項ヲ決メ
マヌ爲ニ、商工大臣其ノ他關係大臣カラ諮詢
間スル機關デゴザイマス、具體的ニ轉業者
ガ出來マス場合ノ資產ノ評價ハ地方委員會
及ビ地方長官限リデアリマシテ、現地デ處
置スルコトニナツテ居リマス、尙其ノ手續ハ
御話ノ通り速カニ運ビマスヤウニ考ヘテ居
リマス

○河原田稼吉君 今ノ御兩君ノ御質問ニ依テ、チョット氣付キマシタ點ヲ御伺ヒシテ置キタイ、今ノ御答辯ニ依リマスト、國民更生金庫ヲ利用スル者ハ、要スルニマア極ク簡明ナ言葉ヲ以テ言ヘバ一種ノ強制的ニ計畫的ニ轉廢業ヲサセラレル者、ソレガ大體ニ於テ利用スル、例ヘバ自分が任意的ニ、此ノ仕事ハ逆モ駄目ダト云フ譯デ、一ツ更生金庫ニ願ヒ出テ融通ヲ受ケヨウト云フ者ハ、殆ド其ノ恩澤ニ浴スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウニ大體了解シテ宜イノデゴザイマスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 大體只今仰セノヤウナ考へ方デゴザイマシテ、此ノ國民更生金庫デ取扱ヒマス分ハ、大體ガ政府ニ於テ計畫的ニ轉廢業セシムル、從ヒマシテ轉廢業ニ關スル資産評價等ヲ致シタ分ダケラ引受ケル、斯ウ云フヤウニ考へテ居リマス、其ノ他ノ一般的ノ任意的ノ轉廢業ト云フモノニ付キマシテハ、現在商業組合等ヲ經由シマシテ、或ハ日本興業銀行、勸業銀行等ニ於テ中小商工業者ニ對スル資金融通ヲ行ツテリマス、商業組合、工業組合ニ付キマシテハ、商工組合中央金庫等モアリマス、是等ノ機關ニ依ッテ、從來ノヤウニ資金ノ融通ヲ行フ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、チヨット私ノ申上ゲマシタコトニ不完全ナ

點ガゴザイマシタラ、修正致シタイト思ヒ
マスガ、政府ニ於テ計畫的ニ轉廢業セシム
ルト申上ゲマシタ、是ハ少シ事實ト違ッテ居
リマスノデ、詰リ轉廢業ヲシタイト云フコ
トヲ商業組合、工業組合、所屬組合ヘ申出
タ場合ニ、商業組合、工業組合ニ於テハソ
レヲ適當ナリヤ否ヲ考ヘマシテ、サウシ
テ商業組合、工業組合等ニ於テ、ソレデハ
誰彼ヲ轉廢業スルカヲ認マルト云フヤウナ
意味ニ於テ計畫ヲ樹テル譯ニアリマス、其ノ
結果政府ニ申出ル、斯ウ云フコトニ致ス
コトニナツテ居リマスノデ、其ノ點訂正致シ
テ置キマス

○河原田稼吉君 今ノ御話ニ依リマスト、統制經濟ノ上ニ於テハマア已ムヲ得ナイトモアリハセヌカト思フノデアリマス、ア其ノ間ニハ隨分……極ク簡單ナ言葉ヲ以テ言ヘバ公平不公平、ソレカラソレニ依ル不滿不平ト云フモノガ出勝デヤナイカ、此ノ點ニ付テハ十分御注意ヲナサルコトガウ要デヤナイカト思ヒマス、ソコデ、大體此ノ仕事デヤ是ダケ轉廢業サセル、此ノ方商業ハ是ダケヤラセルト云フヤウナコトハ其ノ商業自體ノ經營ノ上カラ來ルモノナノカ、或ハ他ノ方ニモ其ノ人力ヲ、人的資源ヲ向詰リ其ノ業自體ダケ是ダケノモノハ餘計ナッテ餘ツシマフ、是ハ何處カニ持ッテ行カナケレバナラヌ、其ノ方ノ救濟ガ主眼ニカノカ、或ハ是ダケ餘裕ヲ作ッテ、此ノ人的資源ヲ餘所ノ方ニ持ッテ行クト云フコトガ主張ナノカ、ドウ云フコトニナルデセウカ、利ノ言ヒ方ガ少シ何ナノデ御分ニナリマンシカドウカ……

○政府委員(堀義臣君) 是ハ矢張リ事業ノ關係カラ致シマシテ已ムヲ得ズ轉廢業者が出ル、出夕場合ニ、ソレヲ國家的ノ必要要素ニ振リ向ケルト云フ考方デゴザイマシテ、轉業問題ハ矢張リ其ノ業自體カラ來ル問題ト私共ハ考ヘテ居リマス

○河原田稼吉君 サウスルト今ノ實際資金ヲ融通シタリ、或ハ財産ヲ處分シタリスル場合、詰リ資金ヲ融通シテヤル時ニオ前ハテ、轉業問題ハ矢張リ其ノ業自體カラ來ル向フノ方ニ行ケバ是ダケ餘計ニ貸シテヤル、ソレダケ十分資金ヲ貸シテヤル、又オ前ハテ

○河原田稼吉君 先日來ノ御話ノ、詰リ假ニ天秤棒一本デモ、其ノ木ノ價ダケデナク、尙餘裕ヲ見テヤルト云フ意味ハ、詰リ主トシテ從來ノ營業狀態……營業權ト云フモノガアルカドウカハ別問題デスガ、天秤棒ニ依テ生ジタ收益、サウ云フモノヲ見テヤルト云フ意味デアツテ、例ヘバ商賣ヲシテ居タル人ガ今度満洲ヘ行ク、サウスルト九州ヘ行クヨリ満洲ヘ行ク方ガ、旅費其ノ他金ガ掛ル、ソコデ九州ヘ行クヨリモ満洲ヘ行ク方ガ、同ジ天秤棒デモ多少多ク見テヤルト云フヤウナコトハ、入ラナイ譯デスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 只今御指摘ニナリマシタヤウナ場合ニ於テハ、本人ガ轉廢業ヲスル先ガ九州デアルカ、満洲デアルカト云フコトニ依テ、資金ノ融通額ヨ二三ニスルト云フ考ハゴザイマセヌ、矢張リ從來ノ業務其ノモノヲ基礎ニ致シマシテ、ソレガ繼續シテ居ツタナラバドウト云フコトヲ基礎ニシテ、資金ノ融通ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○河原田稼吉君 ソレニ關聯シテ、モウ少シ序デニ御伺ヒ致シマス、此ノ條文ヲ先程バ是ダケ餘計ニ資金ヲヤル、ソレヲ聞カナケレバ是ダケダゾト云フヤウナコトハ起ラヌ譯デスカ、詰リ狀況ノ審査ニ於テサウ云フ一
種ノ「ボリシー」ト言ヒマスカ、政策ヲ加味スルヤウナコトガアルノデスカ、ナイノデスカ

拜見シタノデスカ、主務大臣ト云フノハ、
是ハ大藏大臣ヲ指スノデスカ
○政府委員(廣瀬豊作君) 詰リ大藏大臣ノ
事管ノ積リデス

○河原田稼吉君 先日御話ノアリマシタ資
産評價委員會デスカ、是ハ商工省ノ方デオ
カリニナルノデスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 仰セノ通リデア
リマス、ソレデ大體國民更生金庫ノ所管、
其ノ他轉廢業ニ關シマス仕事ヲヤッテ行ク上
ニ於テ、ドウ云フ風ニヤッテ行ク方ガ宜イ
カト云フコトニ付テ政府部内ニ於テ研究致
シタノデアリマス、詰リ苟クモ資金ノ融通
ヲ致シマスニ當リマシテハ、轉廢業ノ計畫
其ノモノニモ關係ヲ致シ、ソレカラ資金ノ
融通ヲ致スト云フノモ、一ツノ行キ方デ
アルト思フノデアリマス、サウ致シマスト、
國民更生金庫ノ仕事ハ大藏大臣ト商工大臣
ガ共管ヲスル、又其ノ更生金庫ガ融通致シ
マス前ノ仕事ニ付テモ亦關聯ガアリマスカ
ラ、是亦商工大臣ト大藏大臣ガ共管ニスル
ト云フヤウナコトニナリマシテ、常ニ共管
關係ガ起ルノデアリマス、ソコデ今回政府
ノ提案致シマシタノハ、兎モ角モ資產ノ評
價委員會ニ於テ評價ヲスルト云フ所迄ハ、
商工省ノ専管デヤッテ貰ハウ、ソレカラ後資
金ノ融通ヲ致シ、擔保物其ノ他ノ資產ノ管
理處分ヲ致スト云フコトハ、是ハ金庫方致
ス、斯ウ云フコトニ仕事ヲハッキリ分ケタ
方ガ敏速ニ事ヲ運ブ上ニ於テ宜カラウト、
從來ノ共管ノ仕事ノ成績等カラ考ヘマシテ、
斯ウ云ツタヤウナ最モ敏速ヲ要スル仕事ニ
付キマシテハ、サウ云フ行キ方ヲシタ方ガ
宜カラウト考ヘマシテ、大體サウ云フ積リ
デ、資產ノ評價迄ハ商工省が行ヒ、資金ノ融

通ノ際ニハ更生金庫ガ當リ、ソレニ對シテ
ハ大藏省ガ專フ監督ノ任ニ當ルト云フ、斯
ウ云フ建前ニ致シタ次第アリマス
○河原田稼吉君 サウ致シマスト、今ノ資
産評價委員會ノ決定ト云フノハ、法律的ニ
言ヘバ一ツノ参考資料ナ譯ナシテセウネ、
實際的ニハソレニ大體從テ行クト云フ、斯
ウ云フコトニナル譯デスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 仰セノ通リデア
リマス、是ハ法律的ニ嚴格ニ言ヒマスト、
假令資產評價委員會ノ決定ガドウアラウト、
國民更生金庫ハ金庫トシテ、獨自ノ見地デ
見積ヲ行フト云フ筋合デアリマス、併シソ
レヲ致シテ居ツタナラバ、到底敏速ニ事ガ行
ヒ得マセヌノデ、大體資產評價委員會ノ決
定其ノ儘ヲ行フ、從ヒマシテ、金庫ニ對シ
テハ政府ハ全面的ニ其ノ危險ニ對シテハ、
補償ヲ行フト云フ、斯ウ云フ建前ニ致シテ
居リマス

○河原田稼吉君 ソレニ關聯シテデスガ、
チヨット只今……昨日ノ御説明ニ依リマシ
テ六千五百萬圓ヲ限度トシテ國庫ガ負擔ス
ル、斯ウ云フモノガマア出來ル譯デスネ、
ソレガ爲ニ損失審査委員會デスカ、ソレヲ
主眼ニシテ居ル譯デセウネ、詰リ金庫ガ損
失ヲシタ場合ニハ六千五百萬圓ヲ限度トシ
テ出シテヤル、從ツテ其ノ損失ヲ評價スル爲
ニ、損失審査委員會デスカ、サウ云フモノ
ガ出來ルト、斯ウ云フ譯ニナリマスカ
○政府委員(廣瀬豊作君) 仰セノ通リデア
リマス

○河原田稼吉君 ナリマスカ、ソレハ敏速ニ行クノデスカ
ハ大藏省ガ專フ監督ノ任ニ當ルト云フ、斯
ウ云フ建前ニ致シタ次第アリマス
○政府委員(廣瀬豊作君) 豫算外契約ハ六
千五百萬圓デアリマシテ、ソレハ翌年度ニ
瓦ル契約デアリマスガ、年度間ニ實際損害
ガ發生致シマスレバ、豫備金支出其ノ他ノ
方法ニ依ツテ年度間ニソレダケノ損失ヲ補
償スル考デ居リマス

○河原田稼吉君 ソレカラ此ノ條文ヲ拜見
シマスト、第五條ニ「國債證券ヲ交付シテ之
ヲ爲スコトヲ得」トアリマスネ、詰リ九百
萬圓ノ出資ヲ、サウシマスト其ノ國債證券
ノ千九百萬圓ヲヤッテ、詰リ場合ニ依ルト、
其ノ轉廢業スル個人若シクハ法人ニ、所謂
レヲ致シテ居ツタナラバ、到底敏速ニ事ガ行
ヒ得マセヌノデ、大體資產評價委員會ノ決
定其ノ儘ヲ行フ、從ヒマシテ、金庫ニ對シ
テハ政府ハ全面的ニ其ノ危險ニ對シテハ、
補償ヲ行フト云フ、斯ウ云フ建前ニ致シテ
居リマス

○政府委員(廣瀬豊作君) 此ノ第五條ノ規
定ハ、政府ノ出資ハ國債デ渡スト云フコト
ヲ規定致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ丁
度資本金ニ當ルモノデアリマスルカラシ
テ、此ノ國債ハ此ノ金庫ト致シマシテハ最
後迄持ツテ居ラセル考デアリマス、詰リ此ノ
國債ハ最後迄手放サナイコトニ致ス、從ヒ
マシテ此ノ國債カラ生ジマス所ノ利息ト云
フモノガ毎年入ル、是ガ此ノ金庫ノ營業費
ニ先づ第一番ニ充當サレル、併シナガラ勿
論此ノ千九百萬圓ノ國債ノ利息アハ足リマ
ス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ此ノ國債
ガ營業費ヲ補足スル、サウ云フ考デ居リマ
ス

○政府委員(廣瀬豊作君) 仰セノ通リデア
リマス

○河原田稼吉君 ソウシマスト、結局六千
體三分四厘位ト考ヘテ居リマス、出來ルダ
ケ低利ニ致シタインデアリマスルガ、資金
ノ「コスト」ノ關係モ考ヘ、大體ノ所三分四
厘ト考ヘテ居リマス

○政府委員(相田岩夫君) 融通ノ利率ハ大
體三分四厘位ト考ヘテ居リマス、出來ルダ
ケ融通シテヤルノデゴザイマスカ、詰リ轉
廢業者ニ例ヘバ金ヲ貸シタリナンカスル場
合ニハ……

○河原田稼吉君 サウシマスト大體ドノ位
度融通シテヤルノデゴザイマスカ、詰リ轉
廢業者ニ例ヘバ金ヲ貸シタリナンカスル場
合ニハ……

○政府委員(廣瀬豊作君) 仰セノ通リデア
リマス

イノデスガ……

○河原田稼吉君 ソレデ一方チヨコト之ヲ見マスト、今ノヤウニ主務大臣ハ大藏大臣デアリマスガ、ソレニハ監督官ガアリ、ソレカラマア結局ハ其ノ金庫ガ適正ニ運用ガ出来テ居ルカドウカト云フコトヲ會計検査院ノ監督ナドモ受ケル譯デスガ、サウスルト自然非常ナスウ七面倒臭クヤカマシクナツテ、ツイ非常ナ窮屈ノ感じガ起キテ來ルト云フヤウナコトガ起リハセヌカ、從ツテノ計畫的ノ轉廢業ト實際ハサウ見テ宜イデハナイカト思フノデスガ、ソレトノ間ヲ餘程ウマク連絡、調和ヲ取ツテ行カレヌト、此ノ連絡ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 先程次官カラモ

御答へ申上ゲマシタヤウニ、此ノ金庫ノ仕

事ノ特質ニ鑑ミマシテ、出來ルダケ敏速ニ

轉廢業計畫ノ遂行ヲ促進援助スルト云フコ

トニ總テノ仕組ヲ考ヘタイト思ツテ居リマ

スガ、特ニ此ノ金庫ノ貸出、或ハ債務ノ引

受若シクハ保證ト云フヤウナモノヲ致シマ

ス時ニ、後ニナツテ、只今ノ御話ノヤウニ、

會計検査院等カラヤカマシク言ハレル虞ガ

アツテ、金庫ノ當務者トシテ自然嚴重ニナラ

ザルヲ得ナイト云フヤウナコトニナリマセ

ヌヤウニ、此ノ業務方法ノ中デ、特ニ重要ナ

ルコトニ付テ申上ゲマスレバ、其ノ場合ノ引

依リマシテ、必要ナル事項ヲ勅令ヲ以テ定メタ

イト考ヘテ居リマス、例ヘバ只今ノ轉廢業シ

タト云フ者ノ爲ニ、資産ノ處分ヲ引受ケル

場合ニ付テ申上ゲマスレバ、其ノ場合ノ引

受資産ノ評價ハ轉廢業者資産評價委員會ノ

議ヲ經テ地方長官ガ決定シタル所ニ從ツテ、

一應營業ヲ繼續スルモノトシテノ妥當ナル

價格ニ依レバ宜シイト云フコト、又資產ノ

處分ヲ引受ケマシタ場合ニ於テ、引受價格

シタ時ハ、之ヲ免除シテモ宜シイト云フコト、又資產ノ融通又ハ債務ノ引受、若シク

ハ保證ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテ、融

通元金及其ノ利息ノ回収ニ付キマシテハ、

引受ケタ舊業務用以外ノ資產及收入ニ對シ

テハ、大體權利ノ行使ヲシナクテモ宜シイ

ト云フヤウナ、サウ云フ規定ヲ設ケタイト

考ヘテ居ル次第ゴザイマス、勿論マダ其

ノ點ハ確定致シテ居ル譯デハアリマセヌガ、

サウ云フ精神デ、此ノ命令ノ規定ヲ作り、

更ニ業務方法ニ於キマシテ、之ニ應ジタコ

トヲ定メシマシテ、之ニ認可ヲ與ヘテヤ

ラセルト云フ方法デ、只今御指摘ノヤウナ

弊害ニ陥リマセヌヤウニ、注意シテ行キタ

ト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵堀田正恒君) チヨコト御諮詢シマス、午前ハ此ノ位ニシテ置キタイ

ト思ヒマスガ……

○河原田稼吉君 オ先ニ失禮致シマシタ

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデ宜シウゴザイマスカ

○子爵由利正進君 ドウゾ……

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是デ

休憩シテ午後ハ一時半カラ開會致シマス

午前十一時四十七分休憩

午後一時三十八分開會

一、二點伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ轉廢業

者側ノ轉廢業計畫ハナカノ容易ニ立テラ

ルトカ云フヤウナモノハ、既ニ大體出來上ツ

テ居リマス、其ノ他ノ工業ニ付キマシテモ

只今銳意斯様ナモノヲ作り、アルヤウナ

クナル譯デアリマス、デアリマスカラ、政

府ニ於テハ此ノムヅカシイ轉廢業計畫ヲバ

特ニ何等カノ方法ヲ以テ促進スルト云フ必

要ガアルノヂヤナイカト思フノデアリマス、

此ノ轉廢業計畫ヲ促進セシムル何等カノ御

計畫ヲ御持ニナツテ居リマセウカ、ソレヲ伺

ヒタタイト思ヒマス、尙現在既ニ轉廢業計畫

ノ進捗シテ居リマスルモノガ相當アルダラ

ウト思ヒマスガ、ソレ等ノ事業ノ内容ニ付

テ御説明ヲ併セテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(堀義臣君) 轉廢業計畫ノ促進

ニ付キマシテ、商工省ト致シマシテ、只今

執ツテ居リマスル方法ヲ申上ゲタイト存ジ

マス、先づ工事ノ方ニ付キマシテハ重要工

業ノ生産力ノ維持ト云フ點ト、ソレカラ中

少企業ノ處置ノ問題ト、一貫シタ方策ノ下

ニ之ヲ考ヘタイ、サウシテ日本ノ生産力ノ

維持擴充ト云フコトニ向ハセタイト云フ考

カラ致シマシテ、各事業毎ニ事業ノ整備要

綱ト云フモノヲ作ル方針ニ相成シテ居リマ

ス、ソレデ現在既ニ機械工業ノ方ニ付キマ

シテハ整備要綱ト云フモノガ出來マシテ、

關係ノ工業組合聯合會ト、ソレカラ地方廳

ト連絡ヲ致シマシテ、其ノ計畫ヲ進ヌマス

ニ必要ナル調査ヲ進ヌテ參ツテ居リマス、ソ

レデ只今ハ聯合會デヤツテ居リマスルガ、次

ニ其ノ所屬ノ組合ニ及シマシテ、サウシテ

械工業ノ方ガ一番進ンデ居リマス、是ハ機

械工業ノ整備要綱ト云フモノヲ作リマシテ、

只今極力其ノ計畫實行ヲ進メテ參ツテ居リ

マス、斯様ナ整備要綱ト申シマスルヤウナ

モソガ、鐵工業、ソレカラ非鐵金屬工業デ

アリマスルトカ、或ハ「ゴム」工業デアリマス

ルトカ云フヤウナモノハ、既ニ大體出來上ツ

テ居リマス、其ノ他ノ工業ニ付キマシテモ

只今銳意斯様ナモノヲ作り、アルヤウナ

クナル譯デアリマス、ソレデ工業ノ方ニ付キ

次第ゴザイマス、ソレデ工業ノ方ニ付キマ

シテ、斯様ナ整備計畫ヲ作リマスルト、

大體此ノ物動計畫上物資ガドノ位減ルノカ

ト云フヤウナ基準ヲ業者ニ示シマセヌト、

業者トシテモ將來ヲ考ヘルコトガ困難ナノ

デアリマシテ、國家ノ機密ニ屬シマス事項

ニ示シマスカラ、其ノ取扱ニ付テハ十分

注意ヲ致シマシタ上デ、差支ナイ限り物資

ノ將來ニ於ケル配給數量ト云フヤウナモノ

ヲ關係者ニ示シマシテ、サウシテ只今申上

ゲマシタ整備計畫ヲ進メル方針ニ相成シテ

居リマス、ソレカラ商業ノ方ハ工業ニ較ベ

マスルト、斯様ナ物資ノ關係ト云フモノモ

餘リ直接的デゴザイマセヌシ、其ノ整備要

綱ヲ決メマスルコトハ非常ニ困難ヲ伴ヒマ

スルガ、是モ併シ重要物資カラ始メマシテ、

出來ルダケ業者ノ轉廢業計畫ヲ立テル基準

ニナルヤウナモノヲ作リタイト考ヘマシテ、

只今其ノ仕事ヲ極力進メテ居リマスヤウナ

次第ゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 チヨコト御伺ヒ漏シタ

ノカモ知レマセヌガ、現在既ニ轉廢業ノ計

畫ノ進捗致シテ居ルモノノ實例ニ付キマシ

テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

九

ソレニ依ツテ進メテ居リマス、其ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、大體ニ於キマシテ大工業者ノ方ノ生産分野ヲ劃定致シマシテ、各業者ガ重複シテ同種ノ機械類ヲ造ルト云フヤウナコトノゴザイマセヌヤウニ、大體ニ於キマシテ大工業者ノ方ノ生産分野ヲ劃定致シマシテ、サウシテ中小工業ハ其ノ下モ活用スル餘地ノナイモノガアリマスル場合ニ、其ノモノニ付キマシテハ轉廢業ヲサセルト云フヤウナ考へ方ニ依リマシテ、機械工業ノ方ガ最モ只今進ンデ居リマス、其ノ他ノ鐵工業ニアリマスルム」工業ト云フヤウナモノハ大體ノ整備要綱ガ出來マシテ實行ニ移シツ、アルト申上ガル程度デゴザイマス、マダ具體的ニ餘リ進ンデハ居リマセヌ、其ノ程度デゴザイマス。

○子爵梅園篤彦君 私カラ御答へ致

シマス、損失決定ノ基準ハ法案ニ書イテゴ

ザイマス通り、大藏大臣ガ之ヲ定メルコトニナツテ居リマシテ、大體損失トシテ認ムベキモノハ、マダ確定シテ居ルモノデハゴザイマセヌガ、大體損失トシテ認ムベキモノハ次ノヤウナモノヲ損失ト見タイト斯ウ考ヘテ居リマス、一つハ引受資產ノ處分價格ノ差額ヲ補填致シマスノデ、其ノ差額ガ一

ツノ損失ニナリマス、又資金ヲ融通致シマシタ場合ニ元金ノ回収不能額ト、又取立不能ノ利子、斯ウ云フモノガ損失ニナツテ居テ居リマス、サウ致シマシテ下請工業トシテモ活用スル餘地ノナイモノガアリマスル場合ニ、ソレニ依リマシテ生

機械工業ノ方ガ最モ只今進ンデ居リマス、其ノ他ノ鐵工業ニアリマスルム」工業ト云フヤウナモノハ大體ノ整備要綱ガ出來マシテ實行ニ移シツ、アルト申上ガル程度デゴザイマス、マダ具體的ニ餘リ進ンデハ居リマセヌ、其ノ程度デゴザイマス。又債務ヲ保證致シマシタ場合ニ、代位辨済モ活用スル餘地ノナイモノガアリマスル場合ニ、其ノモノニ付キマシテハ、ソレ等ヲリマス、又債務ヲ引受ケマシタ場合ニハ、請工業トシテ活用スルト云フ建前ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマシテ下請工業トシテモ活用スル餘地ノナイモノガアリマスル場合ニ、ソレニ依リマシテ生

機械工業ノ方ガ最モ只今進ンデ居リマス、其ノ他ノ鐵工業ニアリマスルム」工業ト云フヤウナモノハ大體ノ整備要綱ガ出來マシテ實行ニ移シツ、アルト申上ガル程度デゴザイマス、マダ具體的ニ餘リ進ンデハ居リマセヌ、其ノ程度デゴザイマス。

○子爵梅園篤彦君 モウ一點伺ヒタイト思

ヒマス、此ノ轉廢業者ヲバ更生救濟スル一

般的對策トシテ、此ノ度御採リ上げニナリ

マシタノハ國民更生金庫法ト、ソレカラ國

民勤勞訓練所、國民職業指導所ト言ツタヤ

ウナモノデアラウト思ヒマスルガ、此ノ國

民更生金庫ニ付キマシテハ、今朝程ヨリ度

御尋ネ致シマシテ大體了承致シマシタガ、

他ノ國民勤勞訓練所、國民職業指導所ト云

フモノニ付テ、其ノ更生内容ニ付テ御説明

ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(坂口芳久君) 私カラ御答へ致

シマス、損失決定ノ基準ハ法案ニ書イテゴ

ザイマス通り、大藏大臣ガ之ヲ定メルコトニナツテ居リマシテ、大體損失トシテ認ムベキモノハ、マダ確定シテ居ルモノデハゴザイマセヌガ、大體損失トシテ認ムベキモノハ次ノヤウナモノヲ損失ト見タイト斯ウ考ヘテ居リマス、一つハ引受資產ノ處分價格ノ差額ヲ補填致シマスノデ、其ノ差額ガ一

ツノ損失ニナリマス、又資金ヲ融通致シマシタ場合ニ元金ノ回収不能額ト、又取立不能ノ利子、斯ウ云フモノガ損失ニナツテ居テ居リマス、又債務ヲ引受ケマシタ場合ニハ、請工業トシテ活用スルト云フ建前ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマシテ下請工業トシテモ活用スル餘地ノナイモノガアリマスル場合ニ、ソレニ依リマシテ生

機械工業ノ方ガ最モ只今進ンデ居リマス、其ノ他ノ鐵工業ニアリマスルム」工業ト云フヤウナモノハ大體ノ整備要綱ガ出來マシテ實行ニ移シツ、アルト申上ガル程度デゴザイマス、マダ具體的ニ餘リ進ンデハ居リマセヌ、其ノ程度デゴザイマス。

○子爵梅園篤彦君 モウ一點伺ヒタイト思

ヒマス、此ノ轉廢業者ヲバ更生救濟スル一

般的對策トシテ、此ノ度御採リ上げニナリ

マシタノハ國民更生金庫法ト、ソレカラ國

民勤勞訓練所、國民職業指導所ト言ツタヤ

ウナモノデアラウト思ヒマスルガ、此ノ國

民更生金庫ニ付キマシテハ、今朝程ヨリ度

御尋ネ致シマシテ大體了承致シマシタガ、

他ノ國民勤勞訓練所、國民職業指導所ト云

フモノニ付テ、其ノ更生内容ニ付テ御説明

ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今御尋ノ國民

勤勞訓練所及職業指導所ト云フ問題ハ、厚

生省所管デアリマシテ、私カラ詳細ノ御答

ハ申上ゲ兼ネマスノデ、後程又厚生省ノ政

府委員カラ御答へ申上ゲルコトト思ヒマス

ガ、國民勤勞訓練所ニ付キマシテハ、既ニ

ト大阪ニ既ニ拵ヘルコトニ致シマシテ、準

備ヲ進メテ居ルノデアリマス、大體場所ハ

東京ト大阪ニ差當リ一箇所宛拵ヘマシテ、

トナリ、關係各省ガ協力シテ、其ノ指導所

トナリ、關係各省ガ協力シテ、其ノ

設スペキ事項其ノ他ニ付キマシテ、調査ヲシテ參ッタ譯デゴザイマス、委員會ハ各種ノ研究ヲ致シマシタ結果、昨年十二月ニ至リマシテ、工業ノ再分布實施計畫ト云フモノヲ決議致シマシタノデゴザイマス、此ノ再分布實施計畫ノ要點ハ、一定地域ニ於キマスル工場ノ新增設ヲ統制スルト云フ點ト、ソレカラ工業ノ立地條件ヲ具備シテ居ル地域ニ工場ノ新設ヲ促進スルト云フ點ト、詰リ消極的方面ト積極的方面ト、兩方ノ内容ヲ含シニ居ル趣意ニ致シマシタノデゴザイマス、之ニ依リマシテ、今後特定ノ地域ニ於キマシテハ工場ノ新設、増設ヲ制限スルト云フコトニ致シマシテ、又特定ノ地域ヲ選ビマシテ、其處ニハ成ルベク工場ヲ持テ行クヤウニ仕向ケル、是ハ現在ノ法制ニ於キマシテハ、強制的ニ工場ヲ一定ノ場所ニ移サセルト云フコトニ參リマセヌ關係モダツ致シマスルノデ、差當リハ現存ノ法規ノ運用ニ依リマシテ出來ルダケ實行スル、併シ將來適當ナ法制ヲ完備致シマシテ、再分布策ニ依リマシタラ云フコトニ相成リマシテ、斯様ナ決議ヲ致シマシタヤウナ譯デゴザイマス、此ノ決議ニハ一應場所ヲ指定シテ居リマスルノデゴザイマスガ、是ハ實ハ機密ニナッテ居リマシテ申上げ兼ネマスノデ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、適當ナ時機ニ又必要ガゴザイマシタラ、申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、斯様ニシテ作リマシタ決議ハ、致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイ

質問ガアリマシテ、其ノ御答ノ中ニアリマシタノデゴザイマスガ、貸付利率ガ大體三分四厘見當ニ御考ノヤウデゴザイマスガ、是ハ無論低利デアルベキ筈ノモノデアリマスガ、轉業致シマシテ最初ノ一年ナリニ一年ナリハ、ナカニ利益ガ舉ラナイ場合モアルト思ハレルノデアリマス、其ノ點ダケデモ利子ハ免除スルト云フヤウチ御取扱ハ出来ナイモノデアリマセウカ、又貸付ノ年限ハドノ位ニ御決メデゴザイマセウカ、一ツ伺ヒタインデアリマス

○政府委員(坂口芳久君) 先づ初メノ方ノ御尋ニ御答ヘ致シマス、貸付當初ノ中ハ償還等ガ困難ナコトモ豫想サレマスルノデ、相當ノ据置期間ヲ置クトモ考ヘテ居リマス、ソレカラ貸付ノ期間ニ付キマシテハ、大體五年ト云フ積リテ居リマス、此ノ貸付ノ償還ハ多クノ場合ハ引受ケマシタ財産ヲ處分致シマシタ時ニ、償還スルコトガ多クナラウト思ヒマス、從ヒマシテ此ノ更生金庫カラ借受ケタモノニ對シマシテ、元金或ハ利子ノ償還ニ付テ多クノ苦痛ヲ受ケルト云フヤウナ場合ハ、少カラウト考ヘテ居ル次第アリマス

○子爵由利正通君 モウ一點伺ヒタインデアリマスガ、是ハ貯蓄ノ方ニ關係致シマスト思フノデアリマスガ、貯蓄預金又ハ信託預金デアリマスガ、詰リ預金ノ吸收ト云フコトハ非常ニ必要ナコトデアリマスルガ、又ソレヲ長期ニ亘ツテ据置クト云フコトガ非常ニ必要ナコトダラウト思フノデアリマス、ソレデ信託會社等モ御承知ノヤウニ五箇年以上ト云フヤウナ長期モゴザイマスガ、是ハ幾分信託會社デモ短期ノモノト區別致シマシテ、受益者ノ利益ノアルヤウナ取扱ヲ

ヤツテ居リマスケレドモ、之ヲ税金ノ方カラ
幾分御斟酌下サツテ受益者ニ有利デアルト
云フヤウニナツタラバ、モット长期ニナル、
信託預金ガアリハシナイカト思ヒマス、詰
リ睡眠資金ト申シマスカ、遊金ト云フモノ
ハモットアルノデヤナカラウカト私ハ思フ
ノデアリマス、ソレハ成ルベク長期化サレ
テ預金サレル方ガ何レノ方面ニ於テモ有利
デアラウト思フノデアリマスガ、御當局ノ
御考ハ如何デゴザイマセウカ
○政府委員(栗原修君) 信託會社ノ預金ニ
付キマシテ、御説ノヤウニ只今ノヤツテ居リ
マスノハ、短期ト申シマスノハ二年以上、
長期ト申シマスノハ五年以上ニナツテ居リ
マス、サウシテ短期ハ三分六厘、長期ハ三
分八厘ト利息ヲ付ケテヤツテ居ルノデアリマ
ス、デ御承知ノヤウニ一番短イ期間デモ二
年以上デゴザイマス、大體ニ長期デ固定的
ノ資金ヲ吸收スルト云フコトニ相成ツテ居ル
ノデゴザイマス、其ノ稅金ノ方カラ申シマ
スト、只今分類所得稅ガ百分ノ十掛カルコ
トニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ度ノ國
民貯蓄法案ニ掲ゲテアリマス組合ノ斡旋ニ
依リマス信託預金ニ付キマシテハ、命令ノ
定ムル所ニ依リマシテ、三千圓ヲ超エザルコ
モノニ付キマシテハ、免稅致スコトニ相成ツ
テ居ルノデアリマス、只今命令デ考ヘテ居
リマスコトハ、大體三年以上ノモノニ付キ
マシテハ、此ノ組合ノ斡旋ニ依リ又組合員
デアルト云フコトノ證明ノ出來マスモノニ
付キマシテ、免稅致ス、サウシテ長期固定
的ノ資金ヲ吸收スルト云フコトニ致シタイ
ト存ジテ居リマス
○山隈康君 私ハ本國民貯蓄組合法ト云フ
モノハ時局ニ對シテ最も重要な法案ダト存

ズルノデアリマス、而モ同法案ノ第八條ノ規定ニ依リマスルト、私共ノ職務ニアル者ハ、此ノ組合ノ促進並ニ監督ノ衝ニ當ルベキ責任ヲ有スルモノト存ジマスルカラ、法律ノ内容ニ付キマシテ御説明願ヒタイト思ヒマス、第一ニ御尋ネ致シタイコトハ、是ハ當然ノコトトハ存ジマスガ、此ノ組合ハ依テ準據スペキモノデアルカドウカサウ致シマスレバ組合員ノ除名、脱退、解散、是ハ皆民法以外ノ規定ニ依テ處置スペキモノト解釋スルノデアリマスカ

○政府委員(栗原修君) 只今ノ御尋ハ組合ノ運營ニ當リマシテハ組合員ノ除名、脱退又ハ組合ソレ自體ノ解散ト云フコトハ法律上來組合ノ規約ノ定ムル所ニ依ラセテ居ル、ドウ云フコトニナルカト云フ御尋デアッタト思ヒマスガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、國民貯蓄組合ノ法律關係ニ付キマシテハ從卽チ組合ノ自律ニ委シテ居ルノデアリマシテ、此ノ法案ニ依リマシテモ組合自體ノ法律關係ヲ新タニ設定スルノデハナク、大體ニ於キマシテ、自律ニ委セルト云フ立前ヲ採ツテ居リマス、唯併シナガラ助成監督上必要ダト思ヒマスル最小限度ノコトハ命令ヲ以テ規定シテ行キタイト思フノデアリマス、デ御尋ニナリマシタ點ハ、結局組合ガドウ云フ法律ニ依ルカト云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ此ノ組合ノ性質ハ一概ニ率ニ斯ウ云フモノデアルト云フコトハ申上ゲラレナイト云フコトハ今申上ゲタ通りデゴザイマスガ、大體ニ於キマシテモ、私共考ヘテ居リマスルニ、法律ノ上ノ關係ハ法
人ニ非ラザル社團ト云フヤウナ法律關係ガ出テ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス、

○政府委員(栗原修君) 第三條ニ掲ゲテアリマスル只今御指摘ノ命令ハ只今考ヘテ居リマスルコトハ届出手續デゴザイマス、後段ニ御尋ニナリマシタ組合ニ關スル何カ命存ジマスガ、一應御示ヲ願ヒタイト存ジマス

○山隈康君 少シク了解致シ兼ネマス點ガアリマスノデ、後ノ問題ヲ御尋ネ致シマシテ、更ニ其ノ點ニ付キマシテハ御尋ネ致シタイト考ヘマス、近來ノ立法ノ傾向ハ内容ノ重要ナ點ヲ命令ニ依存スルコトガ多イノデアリマス、其ノ爲ニ法律自體ノ本質ヲ認識スルノニ非常ニ困難ヲ感ズルコトガ少クナイト思ヒマスルガ、此ノ第三條ニ「國民貯蓄組合ヲ組織シタルトキハ組合ノ代表者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合規約ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ」ト云フ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、主務省ノ方デ規約ノ準則デモ御定ニナルノデアリマセウカ、命令ト云フ此ノ命令ノ範圍、若シ準則デモ御定ニナルト云フナラバ、大體其ノ準則ノ腹案ハアルト存ジマスガ、一應御示ヲ願ヒタイト存ジマス

申シマスノハ、只今御説ノアリマシタヤウニ、民法上ノ社團ニ關スル規定が準用セラレルノデハナカラウカ、唯本法竝ニ本法ニ基キマシテ發スル命令、又ハ組合規約ニ依リマシテ民法ノ規定ヲ排除スル場合ガ相當多カラウト思ヒマスカラ、其ノ以外ノモノハ大體ニ於キマシテ民法ノ社團ニ關スル規定ガ準用サレル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ、除名、脱退、解散ニ付キマシテモ、ソレ等ノ規定ニ依リマシテ運行出來ルト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

ソレハ十二條ニ依リマシテ、主ナルモノヲ書キタイト云フ考デ居ルノデゴザイマス、ドウ云フ腹案ガアルカト云フコトデゴザイマスガ、マダ確定的ニ申上ゲル迄ニ至ッテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於キマシテ組合ノ代表者ニ關スル規定デアルトカ、或ハ組合規約ノ變更、組合長ノ選任等ノ重要事項ノ決定ノ場合、定足數三分ノ二以上ノ組合員ガヤルト云フヤウナコト、組合ノ名稱ニ關スルコト、組合ノ組織手續ニ關スルコト、組合規約ノ記載事項ニ關スルコト、又組合ノ解散ニ關スルコト、斯ウ云フヤウナモノヲ命令ニ依ツテ定ムル積リデゴザイマス、只今ドウモ命令ニ讓ル場合ガ多クテ分リニクイト云フヤウナ御話デゴザイマシタノガ、之ヲ命令ニ譲リマシタノハ、元來此ノ貯蓄組合ハ政府ノ勸奨ニ依リマシテ、愛國運動トシテ發達シタモノデアリマシテ、此ノ自然ニ發達シタ所ノ現状ヲ尊重スルト云フ建前デ立案致サレテ居ルノデアリマシテ、之ニ特別ノ形ヲ興ヘルトカ、或ハ複雜ナ手續等ヲ要スルコトノナイヤウニ致シマスルト共ニ、組合ノ監督助成上、組合ノ發達ノ状況ニ依リマシテハ、規定ノ變更ヲ要スル場合モ相當多カラウト存ジマシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ法律ヲ以テ規定スルコトハ適當デナイデヤナイカト云フ風ナ考カラ致シマシテ、命令ニ依ツタヤウナ次第アリマス

他ノ方デ、條文ニ依ツテ貯蓄ノ割合、貯蓄ノ額等ハ決定ヲスルモノナリト解スルノデスカ
○政府委員(栗原修君) 第一條ニ掲ゲテアリマ
シマスト、第一ガ地域組合ト申シマスカ、第二
二ハ職域組合、第三ガ産業的組合、第四ハ
其ノ他ノ色々ノ身分其ノ他ニ依リマシテ組
合員ノ資格ヲ得ルト、斯ウ云フ風ニ分類致
シタノデアリマスガ、此ノ分類ヲ致シマシ
タ行政上ノ便宜ノ二三ヲ申上ゲマスト、先
づ第一ニ自分ガドノ組合ノ組合員タル資格
ヲ持ツテ居ルカト云フコトハ非常ニ明確ニ
ナッテ、非常ニ便宜デアラウト云フ點モ考
ヘテ居リマス、又第六條ニ依リマシテ、主
務大臣ガ組合ノ組織ヲ命ズル場合ニ於キマ
シテモ、組合員ノ組合員タル資格ト云フモ
ノガ非常ニ明確ニナッテ居リマシテ、便宜デ
アラウト、只今御話ノアリマシタ貯蓄ノス
ル率ニ付キマシテモ同ジヤウニ、地域組合
ニ於キマスルモノ、又職域組合ニ於キマシテモ
トカ云フモノヲ決メル場合ニ於キマシテモ
便宜デアル、斯ウ云フヤウナ考ヲ以チマシ
テ是等ノ類別ヲ分タ次第アリマス

○山隈康君 チヨット私耳ヲ患ツテ、非常ニ
聽キニクカタノデアリマスガ、私ノ御尋ヲ
ゲテアリマス構成員ノ貯蓄高デスネ、何カ
強制貯蓄デナクテモ、大體賞與何割トカ、
月給ノ何割デアルトカ云フヤウナコトヲ、
内規若シクハ準則ニ依ツテ御示ニナルカド

○政府委員(栗原修君) 只今申シマシタヤ
ウニ、此ノ類別ニ依リマシテ貯蓄ノ方法ナリ、
貯蓄ノ率ナリニ若千差等ガアルヤウニ考へ
マスノデ、此ノ類別ニ從ヒマシテ、私ノ方
デハ内規ト申シマスカ、模範規約例ノヤウ
ナモノヲ設ケマシテ、ソレデ指導ヲヤッテ行
カウト云フ考デ居リマス

○山隈康君 強制貯蓄デナイト云フ點ニ付
テ若干私ハ疑問ヲ持ツテ居リマスガ、第六條ノ規定ニ依リマスト、主務大臣が必要ア
リト認ムルトキハ、命令ノ定ムル所ニ依リ、第一條ノ各號ノ一二書イテアル者ニ對シ、
國民貯蓄組合ヲ組織スベキコトヲ命ズルコ
トヲ得ル、若シ極端ナル例ヲ舉ガマスト、
第一條ノ各號ノ一二當ル者ガ貯蓄ヲシナイ
ト、貯蓄ヲスル意思ガナクテモ、第六條ニ依
テ組合ヲ組織スル命令ヲサレタ以上ハ、
其ノ命令ニ依ツテ組織ラシ、組織ラシタ以上
ハ應分ノ内規ニ基キ、或ハ定款ニ依ツテ貯蓄
ヲシナケレバナラヌ、是ハ一種ノ強制貯蓄
デハナイノデアリマセウカ、當事者ノ意思
ハ此ノ種ノ組合ヲ組織スル意思ガナインニ
命令ニ依ツテ組織ラシ、且ソレニ依ツテ貯蓄
ヲスルト云フコトハ一種ノ強制ノヤウナ感
ジヲスルノデアリマスガ、全體本法ハ強制
デナイト云フ建前カラ致シマスト、六條ノ
規定ニチヨット了解ヲ致シニクイ點モアリ
マス

○政府委員(廣瀬豐作君) 先程カラ段々ノ
御質問デアリマスガ午前中カラ申上げテ居
リマス通り、國民貯蓄組合法ハ強制貯蓄ヲ
全然意味シテ居リマセヌ、只今御舉ゲニナ
リマシタ第六條ノ規定モ是ハドウ云フ趣旨
カト申シマスルト、大體ガ今度ノ事變以後
ニ於キマシテ、政府ガ國民ノ協力ヲ求メテ

時蓄ノ國民ニ勧メテ居ルノデアリマスガ
是ハ何處迄モ國民ノ愛國心ニ懇ヘマシテ、法
律ニ依ツテ縛ルト云フ考ハナイノデアリマス、今
後ニ於キマシテモ政府ト致シマシテハ、法
律ニ依ツテ縛ルト云フ考デ貯蓄組合ヲ組織
セシメルト云フ考ハナイノデアリマスル
ガ、唯第六條ノヤウナ場合ハ大勢ノ、殆ド
大部分ノ人ガ愛國心ニ依ツテ國民貯蓄組合
ヲ組織シテ居ルニ拘ラズ、特ニ一部ノ極ク
少數ノ人ガ國民貯蓄組合ヲ組織シナイガ爲
ニ、他ノ現ニ貯蓄組合ヲ組織シ、國民貯蓄ヲ
行ヒツ、アルノ人貯蓄心ヲ阻害スルト云フ
虞ノアリマスル場合ニ於テ第六條ヲ發動致
シ、其ノ極ク少數ノ特殊ノ人ニ對シテ、國
民貯蓄組合ノ組織ヲ命ズルト云フコトヲ考
罰則ト云フモノハナイノデアリマス、即チ
第六條ト雖モ、矢張リ國民ノ道義的良心ニ
懲ヘマシテ、此ノ國民貯蓄ノ組織ヲ命ズル
ノデアリマシテ、決シテ強制命令……一種
ノ命令デハアリマスケレドモ、罰則ヲ伴フ
ヤウナ性質ノ命令デハナイノデアリマス、
尙先程カラ第一條ノ一號乃至四號ノ組合ニ付
テ貯蓄ノ率等ヲドウスルモノカト云フ御尋
デゴザイマシタガ、大體ノ本法立案ノ趣旨
ト致シマシテハ、現在既ニ全國五十何萬ト
云フ貯蓄組合ガ出來テ居リマシテ、ソレガ
各々自治的ニ自律的ニ國家ニ御奉公スル意味
合ニ於テ、皆ガ相當既ニ二、三年ニ亘ツテ貯蓄
ヲ行ツテ居ルノデアリマス、政府ト致シマシ
テハ其ノ現狀ヲ大體整理ヲスルト云フ頭デ
アリマシテ、ソレヲ此ノ組合ニ對シテ何力
更ニ強壓ヲ加ヘルト云フヤウナ考ハナイノ
デアリマス、從ヒマシテ現在ヤツテ居リマス

率ト云フモノニ付テ、或程慶祝化強化ト申シマスノハ、例ヘバ月掛十錢ヅ、ヤッテ居ル組合ニ對シマシテ、或ハ今後ハ十五錢ニシテ貰フト云フヤウナ勸奨ハ致シマセウ、ケレドモ是非十五錢ヤルベシト云ツタヤウナ命令ヲ出スト云フ考ハゴザイマセヌ、サウ云ツタヤウナ意味合ニ於キマシテ第一條ト雖モ、第六條ト雖モ、所謂強制貯蓄ノ意味ヲ持ツタ規定デナイト云フコトヲハツキリ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

コトデハアリマセウケレドモ、政府ト令シ
マシテハ容易ニ引出シノ出來ナイ、萬已ノ
ヲ得ナイ事情デナケレバ引出スコトノ出來
ナイ、即チ國民貯蓄ノ完成ヲ圖ルト云フコト
トニ付テノ何カノ御準備、御用意ガアレバ
承リタイト存ジマス。

ノ 説明テモ申上ゲマシタヤウニ此ノ際ニ
於キマシテ國民貯蓄組合ヲ通シテ貯金ヲ行
ヒマシタ場合ニ於テハ、免稅ノ特典ヲ與ヘ
ソレカラ又豫算ニ依リマシテ或條件ヲ備ヘ
タモノニ付キマシテ、補助金ヲ與ヘルト云
フコトヲ明瞭ニ致シタノデアリマス、即チ
一方ニ於テ保護ヲ與ヘ、又特典ヲ與ヘテサ
ウシテ國民貯蓄ヲ將來益、健全ナル發達ヲ續
ケサセヨウト云フ趣旨デアルノデアリマス、
此處デ後段ニ御尋ニナリマシタ強制貯蓄ノ

率ト云フモノニ付テ、或程慶祝化強化ト申シマスノハ、例ヘバ月掛十錢ヅ、ヤツテ居ル組合ニ對シマシテ、或ハ今後ハ十五錢ニシテ貰フト云フヤウナ勸奨ハ致シマセウ、ケレドモ是非十五錢ヤルベシト云ッタヤウナ命令ヲ出スト云フ考ハゴザイマセヌ、サウ云ッタヤウナ意味合ニ於キマシテ第一條ト雖モ、第六條ト雖モ、所謂強制貯蓄ノ意味ヲ持ツタ規定デナイト云フコトヲハッキリ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○山隈康君 一應私ハ了承致シマシタガ、只今ノ御説明ニ依リマスルト、是ハ國民ノ愛國心ニ懇ヘテ、法律ノ力、若シクハ命令ノ力ニ依ツテ強制スルノデハナイ、又現在ニ於テモ、既ニ其ノ愛國心ニ依ツテ銘々相當貯蓄組合法ノ狙ヒ所ノ重點ハ何處ニ在ルカ、相變ラズ國民愛國心ニ懇ヘルト云フコト、從來ト雖モ愛國心ニ懇ヘテ既ニ貯蓄方出來テ居ルト云フコトヲ認メラレマスレバ、此ノ組合ノ重點ハ何處ニ在ルカト云フコトヲ御伺ヒシタインデス、實ハ私共ノ實見ニ依リマスルト、相當時局ヲ認識シテ銘々ドチラカト云フト、自分ノ力以上ニ貯蓄ヲシテ居リマス、借金ノ利子ハ拂ハヌデモ貯蓄ヲセナケレバナラヌト云フヤウナ今日ノ一般ノ状況デアリマスガ爲ニ、一面ニハ其ノ貯蓄シタモノヲ引出スコトニ付テ別ニ法律上ノ制裁モナケレバ何等ノソレヲ阻止スル方法モナイノデアリマスカラ、一面形ノ上ニテハ貯蓄ヲシテ他面ニ之ヲ引出ス、斯ウ云フコトデ貯蓄ノ實績ノ擧ラナイ點等モアアルノデハナイカ、故ニ何カ準則等ニ於キマシテ、無論是ハ組合ノ意思ニ依ツテ決定スル

コトデハアリマセウケレドモ、政府ト令シ
マシテハ容易ニ引出シノ出來ナイ、萬已ノ
ヲ得ナイ事情デナケレバ引出スコトノ出來
ナイ、即チ國民貯蓄ノ完成ヲ圖ルト云フコ
トニ付テノ何カノ御準備、御用意ガアレバ
承リタイト存ジマス。

ノ 説明テモ申上ゲマシタヤウニ此ノ際ニ
於キマシテ國民貯蓄組合ヲ通シテ貯金ヲ行
ヒマシタ場合ニ於テハ、免稅ノ特典ヲ與ヘ
ソレカラ又豫算ニ依リマシテ或條件ヲ備ヘ
タモノニ付キマシテ、補助金ヲ與ヘルト云
フコトヲ明瞭ニ致シタノデアリマス、即チ
一方ニ於テ保護ヲ與ヘ、又特典ヲ與ヘテサ
ウシテ國民貯蓄ヲ將來益、健全ナル發達ヲ續
ケサセヨウト云フ趣旨デアルノデアリマス、
此處デ後段ニ御尋ニナリマシタ強制貯蓄ノ

條ニアリマスヤウニ免稅ノ特典ヲ與ヘマシテモ、是ハ大體ニ二箇年以上引續イテ貯金シタ額デナケレバ免稅ヲシナインデアリマス、若シ其ノ二箇年ノ間ニ於テ納稅ノ期間ガ始終參リマスケレドモ、二箇年間引續イテ貯蓄シタ場合デナイ場合ニハ、前ニ免稅シタモノヲ後カラ追徵スルコトニナッテ居リマス、即チサウ云フ方法ニ依ッテ側面カラ此ノ長期ニ亘ル貯蓄ト云フモノヲ勧メル、斯ウ云フ方法ニ依ッテ貯蓄ヲ獎勵ヲ致シタイ、斯ウ云考デアリマス。

○山隈康君 此ノ法案ヲ拜見致シマスレバ、當事者ガ組合規約ヲ主務大臣ニ届出ル、竝

ニ解散シタ場合ニハ主務大臣ニ届出ル、竝

ノ外主務大臣ガ此ノ組合ニ對シテ有スル權限ニ付テハ規定ガナインデアリマスガ、第

八條ニ依リマスト、主務大臣ハ勅令ノ定ム

ル所ニ依リ本法ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方

長官ニ委任スルコトヲ得ル、是ハ唯此ノ勅

令ハ委任スルコトガ出來ルト云フダケデアッ

テ、主務大臣ノ權限ハ命令カ其ノ他ニ依ッ

テ決ル譯デアリマセウガ、更ニ職權ノ一部

ヲ地方長官ニ委任シ、又地方長官ハ其ノ職

權ニ屬スル事務ノ一部ヲ市町村長ニ取扱ハ

シメル、斯ウ云フ規定ニナッテ居リマスガ、

大體ドウ云フ程度ノ職權ノ一部ヲ地方長官

ニ委任シ、地方長官ハ又其ノ職權中ノドウ

云フ部分ヲ市町村デ行ハシメルト云フ趣旨

ニ相成ツテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(栗原修君) 只今勅令ナリ命令

ナリデ規定シヨウト思テ居リマス事柄ハ、

先づ大藏大臣ノ權限トシテ持シテ居リマス

モノハ、第二條ノ貯蓄方法ノ指定デゴザイ

マス、ソレカラ第二ガ第六條ノミ……

○山隈康君 第二條デスカ

○政府委員(栗原修君) 質蓄ノ方法ノ指

定、八號ニ依リマシテ主務大臣ノ指定スル

ケル組合ニ付キマシテハ警視總監ト云フモ

モノトアリマスガ、此ノ指定ハ大藏大臣ガ

スル積リデ居ルノデゴザイマス、是ハ政府

ノ元利保證アル社債ノ買入デアルトカ、特

殊銀行會社ノ銀行債及社債ノ買入デアルト

カ、或ハ勤務先ニ對スル預ケ金ト云フモノ

ヲ豫定シテ居リマスガ、斯ウ云フモノニ對

スル指定ハ、大藏大臣ノ權限ニ留保シテ置

キマスト云フ考デゴザイマス、ソレカラ第

二ガ、第六條ノ組織ヲ命ズルト云フ場合デ

ゴザイマスガ、是ハ大藏大臣ノ權限デゴザ

イマス、ソレカラ第三ニハ七條ノ監督ノ權

限デアリマス、是ハ地方長官ニモ一部ヲ委

任スル豫定デアリマスガ、大藏大臣モ同様

ニ一部ヲ持シテ居ルト云フコトニ致シタイ

トモウツハ、組合ノ監督權限ト云フモノ

ハハッキリ現ハレテ居リマセヌガ、斡旋方法

ヲ大藏大臣ノ認可ヲ要スルコトニシテ居ル

ノガツゴザイマス、其ノ外ニ尙ツ法文ニ

ハハッキリ現ハレテ居リマセヌガ、斡旋方法

ヲ大藏大臣ノ認可ヲ要スルコト

或ハ隣保班ト云フ地域ニ於キマシテ、此ノ地域内ニ居住スル者ガ、組合ヲ組織スルト云フ場合ヲ規定シタノデゴザイマス
○山隈康君 只今ノ點ニ付キマシテ、若干希望ヲ申述べタイト存ジマス、此ノ第一條ノ一、二、三ト云フノハ、相當ノ組織ヲ持ッテ居ルモノガ資格者ノヤウデアリマスルガ、餘リニ區域ガ狭イト、折角ノ貯蓄組合ノ意義ヲ成サナイモノト思フノデアリマス、東京、大阪ノヤウナ六大都市ハ格別ト致シマシテ、二十萬内外ノ都市ハ、寧ロ是ハ一ツノ組合ノ方ガ纏リモ良ク行キ、分立ヲ致シマスヨリモ、經費モ相當少ク行クダラウト思フノデアリマス、サウシテ今貯蓄ノ實效ヲ擧ゲテ居リマスモノハ隣保組合デス、其ノ隣保組合ガ互ヒニ相支援シ協力ヲ致シマシテ、出來ルダケノ貯蓄ヲスルト云フコトハ、非常ニ效果ガ多イノデアリマス、ソレガ相集リマシテ町内會ヲ單位ト致シマスレバ、此ノ第一條ニ掲ゲテアリマスル官公署、學校、工場、事業場、斯ウ云フモノガ或一部ニハ存在シテ、他ノ一部ニハ一切斯ウ云ハ、出來ル限り一つノ組合ト云フコトニ、希望ヲシテ置キタイト存ジマス、序デニモテ定ムル者「ト云フノハ、是ハ大體ドウ云フモノヲ御想像ニナッテ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(栗原修君) 前段ノ御希望ハ篤ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、又澤山指定スルモノハアラカト存ジマス
○山隈康君 モウ一點御願ヒシテ置キタスウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ金庫生命保険モ保険ノ會社自體デハ、一面ニハ保険料ヲ拂ヒ、他面ニハ若干ノ利子ヲ拂フベキ組織ノ保険會社ガアルヤウデアリマスガ、第四條ニ其ノ場合ノ免稅ノ點ガナイヤウデアリマスガ、是ハ唯銀行預金ト合同運用信託ダケニ限定サレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ他ノ場合ニ於テモ何カ斯ウ一定ノ定款ニ依ッテ、利子ヲ拂ヒマスル場合ハ矢張リ第四條ニ依ッテ免稅點ガアルト解スベキモノデアリマセウカ

○政府委員(栗原修君) 生命保険ノ保険料ニ付キマシテ御話ノヤウニ一定ノモノヲ拂戻スト云フコトガアリマスコトハ御話ノ通りデゴザイマス、併シ只今ソレニ對シマシテハ税ガ掛ラヌコトニナッテ居リマスノデ、免稅規定ヲ設ケナカッタ次第アリマス、ソレハ生命保険ノ保険料バカリデナク、無盡會社ノ無盡ノ掛金等ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、之ニハ免稅ノ規定ヲ設ケマセヌデゴザイマシタ

○山隈康君 國民貯蓄組合法ニ對シマスル私ノ質問ハ是デ一應終了致シマシタ
○子爵三島通陽君 私ハ此ノ更生金庫ガ金融ダト思ヒマスガ、法ハ運用ニ在ルト思ヒテ見タイト思ヒマス、此ノ法律ハ精神トシテハモウ誰モ不贊成ハナイ、誠ニ結構ナ法只今考ヘテ居リマスルノハ、青年團デアル

</div

ニハモット獎勵金ヲ與ヘルトカ云フヤウナ
施設ガアツテモ宜イヤウナ氣ガスルノデゴ
ザウ云フコトヲシナイデ、逆ニサウ云フ者
又厚生省ニ於カレマシテモ、モウ訓練所ヲ
出タ後、轉業シテ又活動シテ居ル、是ハ謂
ハバ一種ノ新シイ意味ノ開拓者、「バイオ
ニヤー」デアルト云フヤウナ人ニ對シテヘ、何
處迄モ目ヲ掛ケテ指導スベキヂヤナイカト
思フノデアリマスガ、サウ云フコトデ成功
スレバ、次ニ澤山續ク者モ喜ンデ安ンジテ
續イテ行クノヂヤナイカト思ヒマスノデ、
大變諄イヤウデゴザイマスガ、何カサウ云
フ方面ノコトニ付テ厚生省デ何カアラレマ
スカドウカ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(内藤寛一君) 前段或ハ他ノ政
府委員カラノ御答辯デ足リルカト思ヒマス
ガ、厚生省デヤッテ居リマス對策ニ付テ簡單
ニ申上ゲマス、先ニ大藏次官カラモ御話ガ
アリマシタヤウニ、厚生省ト致シマシテハ、
過般職業紹介所、是ハ約全國ニ三百七十箇
所アリマシテ、更ニ之ニ百箇所バカリノ出
張所ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ官制
ノ改正ニ依リマシテ去ル一日カラ職業指導
所ト名前ヲ改メマシテ、サウシテ、同時ニ
内容ト致シマシテ、在來ノ主事、主事補ノ
外ニ民間ノ此ノ方面ニ於キマス經驗者ヲ囁
託ト致シマシテ、約三百名バカリヲ主タル
指導所ニ配置致シマシテ、專テ此ノ連中ヲ
中心ニ致シマシテ、轉業ノ御相談ニ應ジテ
行ク、サウシテ、在來ノ御世話ニ於キマシテ
ハ、數方非常ニ上リマス關係上、動モ致シ

ナクテハ行キ兼ネル、決心ガ付カナイト云
フ連中ガアリマスノデ、其ノ方々ハ訓練所
ニ御入リニナラナイデ、直チニ補導所ノ方
ニ直接御入リニナリマシテ、其處テ多少腕
ヲ磨イテ轉業スル、斯ウ云フ風ニナッテ居
リマス、此ノ訓練所竝ニ補導所、何レモ入
所中ニ於キマシテ、別途前ニ申シマシタ指
導所ト十分ナ連絡ヲ取リマシテ、多クノ方
方ニ付キマシテハ訓練ノ機關ヲ修了致サナ
イ中ニ直チニソレ迄ニ、行ク先ガ決シテ居リ
マシテ、新シイ職場ニ就クト云フ、斯ウ云
フ仕組ニヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

ニヨク分リマシタカラ、尚サウ云ッタヤウナ
者モ、此ノ指導所デスカ、訓練所デスカ、
出夕者トノ間ノ絲が切レナイヤウニ、何時
迄モ、何時迄モ職業ニ就イタ先迄モ面倒ヲ
見テヤルト云フ御精神ヲ御持ニナツテ戴キ
タイト思ヒマスシ、又單ニサウ云フ物質的
テ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ私ノ質問
ヲ終リマス

カト云フコトガ重要ナ問題デアル、只今御
説明ニナリマスル如ク、職業補導所トカ、
或ハ其ノ他諸般ノ御計畫ガアルヤウデアリ
マスガ、中ニ先祖代々或一定ノ商賣ヲ爲シ、
其ノ商賣カラ離レルト云フコトハ非常ニ困
難デアルノミナラズ、家族ノ關係、即チ病
ミタル老人ヲ抱へテ居ル、或ハ乳児ヲ抱
ヘテ居ルトカ、若シクハ年齢ノ關係、相當
年ヲ取りマシテ、勞働ニ從事ガ出來ナイ、
斯ウ云フモノガ相當多イ、現在ノ狀態カラ
致シマスト、モウ賣ル品物ハナイ、非常ニ
困ツテ居ルガ、孤壘ヲ守ツテ、アルダケノ物
ヲ賣リ盡シテ今日々ヲ暮ラシテ居ルト云
フヤウナモノガ多數アリマス、其ノ爲ニ表
ニ現ハレマシタル轉業、失業ノ數ハ、或ハ
表ニハ現ハレテ居ナイカトモ存ジマスケレ
ドモ、實際ハ全ク悲慘ナ状態アリマス、
是等ガ段々思想ニ影響ヲ致シマシテ、計畫
經濟デアルトカ、其ノ他諸般ノ制度ノ上ニ
ハ國家ノ統制ニ付テ間違ヒガアルトカ、或

ハ配給ニ付テ不合理ガアルトカ、殆ド不平ノ聲ガ巷ニ滿チ／＼テ居リマス、是ハ餘程御注意ニ相成ラスト、思想外ノ私ハ問題ヲ惹起ス害ガアルト、深ク地方ノコトヲ痛心ヲシテ居リマス、例ヲ申述ベマスト今木炭ノ商ヒヲ致シマスル者ガ消費ノ公定價格ヲ云フモノハ汽車ノ便ガアルモノハ政府ノ方ノ供出炭ニ出シテシマフ、政府ノ方デ買ヒマスノハ、四貫俵一俵ニ付テ十二錢高イ、ウ云フモノハ汽車ノ便ガアルモノハ政府ノハ「レール」渡シデ、民間ニ流スノハ貨車積デアリマスカラ、二錢ダケ民間ノ方デ損ヲ致シマス、ソコデ或地方カラ一貨車民間ニ流スノト政府ニ流スノト較ベマスト四十圓ノ差ガアリマスカラ、自然政府ノ方ニ流レル、是モ已ムヲ得マセヌ、ソコデ今度木炭商ハ鐵道ノ便ノナイ地方カラ炭ヲ蒐荷致シマスト、近來「ガソリン」ガ缺乏シ、從ツテ「トランク」ガ馬鹿ニ高イ、運賃ヲ計算致シマスト、公定價格デソレヲ流シマスレバ一俵十錢、ムナク我々ノ方デハ其ノ爲ニ木炭ノ組合ニ對シテ市町村ガ補助ヲシテ、サウシテ僅カニ木炭商ハ過去ノ需要者ノ店ニ運搬ヲ致シマスル、其ノ費用一俵五錢トカ十錢ヲ取りマシテ、大キナ木炭ノ商賣人ガ炭ヲ運搬致シマシテ、一日ニ一圓トカ、五十錢トカノ運賃ヲ取リマシテ生活ヲシテ居ルト云フ状態

デアリマス、更ニ轉業ノコトモ、マア東京
デモサウデアリマスガ、今米穀ノ配給等ヲ
一元化致シマシテ、組合デヤル、當業者ニ
ハ配給所ヲ設ケテ、當業者ニハ一定ノ給料
ヲ渡ス、東京市ニ致シマスルト、組合ヲヤッテ
居ル者ニハ八十圓渡ス、ソレデ八十圓デ生
活ヲセヨ、地方デモ同様デアリマスガ、サ
ウ云フ場合ニ、從來店ヲ張テ是ハ木炭商ニ
限ラズ、米穀商ニ限ラズ總デサウデアリマ
スガ、轉業、若シクハ廢業致シマスル際ニ
從來ノ家賃五十圓、六十圓ノ家賃デ店ヲ張
テ居ツタ者ガ、ソレヲ廢業シテ、轉業シタ
時ハ、左様ナ家ニ住ム必要モナイカラ、他
ニ移レバサウ云フ高キ家賃ヲ拂フ必要ガナ
イノデアリマス、現在ノ状態カラ致シマス
ルト、他ニ移ラウトシテモ殆ド家ガナイ、
東京デモサウデス、地方ハ全然モウ借家ヲ
他ニ求メヨウトシテモ家ガナイ、サウ致シマ
ス、斯ウ云フヤウナ現在ノ状態デアリマスガ、
是モ少シク本件ニハ飛び離レタ例カモ知レ
貰ハ相當ベラ棒ナ家賃ヲ出サナケレバナラ
ヌ、近縣ノ福岡、長崎ノ方ハ非常ナル越ノ爲ニ
私ノ方ハ熊本デアリマシテ、相當生産地デ
他所ニ出シマスル餘力ガアリマスガ、處ガ
近縣ノ福岡、長崎ノ方ハ非常ナル越ノ爲ニ
困ツタ、其ノ爲ニ熊本ノ生産地カラ闇デズ
ンズン入り込ミマシタ、盛ニ流レテ、餘程
警察ノ方デ注意致シマシタケレドモ、ソレ
ヲ全然根絶スル譯ニ行カナイ、ソコデ市内
ノ商賣人ガ、米穀商ガ其ノ得意先ニ配給ス
ルニハ、矢張リ他縣ノ人ガ隣縣ノ者ガ闇デ
買ヒマスルカテ、ドウシテモ其ノ米ヲ集荷
致シマスルニ付テハ若干闇デ買ハナケレバ
ミガ集マラナイ、ソレデ闇デ買ヒマシテモ、

ソレヲ得意先ニ白米デ賣リマスル時ハ公定價格デアル、非常ナ利潤ヲ少クシ糠ガ高イトカ、或ハ藁ガ高イ、繩ガ高イト云フコトカラザル罰金ヲ受ケマシテ、相當恐慌ヲ來タシタ譯デアリマス、デ實際ノ實狀カラ致シマスルト、ナカ／＼轉業、即チ從來ノ先祖代々商賣ヲシテ居ッタ者、相當年齢ニアッタ者ガ滿洲ニ行クトカ、或ハ新タニ職工ニナルトカ、斯フ云フヤウナ轉業ト云フコトハ殆ド不可能デアルノミナラズ、又他ノ商賣ト言ヘバ、配給機關ト致シマスルト、全然他ニハ配給機關ガナイ、デ轉業シヨウトシテモ轉業ノ途ガナイモノデアリマス、ソコデ之ヲ救濟致シマスル方法トシテ、私共ノ方デ考ヘ、又實施シタイト思ウテ居ルノヘ、先ヅ組合ヲ作りマシテ、組合デソレ等ノ米穀商若シクハ木炭商ガ一元化シテ若干ノ、月ニ五十圓トカ三十圓トカ配當ヲ受ケマスレバ、其ノ不足分ヲ副業ノ獎勵ヲスル、即チ組合デ副業ノ材料ヲ買ヒ集メマシテ、ソレヲ各戸ニ渡シテ、デソレヲ工作サセマシテ、出來タ分ハ又八割ナラバ八割ノ工賃ヲ拂ギテ、組合ノ方デ取り集メマシテ、之ヲ他ニ縣外、若シクハ第三國等ニ賣却ヲ致シマシテ、アトノ二割ナラバ二割ト云フ金額ヲ渡ス、斯ウ云フコトガ寧ロ轉業ヨリモ實際困ツテ居ル者ヲ救濟スルニハ一番良イ方法デハナイカト存ジテ居リマス、ソコデ伺ヒタイノハ、第十七條ニ「國民更生金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ニ掲グル業務以外ノ業務ヲ行フコトヲ得」此ノ規定ニ依リマシテ、左様ナ組合ニ資金ヲ貸シテ戴イテ、其

ノ組合ガ材料ヲ買集メマシテ、之ヲ失業若シクハ轉業ノ必要ノアル者ニ交付シテ仕事ヲサセル、斯ウ云フコトニナリマスト、若干救濟ノ途モ立チマスルシ、又非常ニ溫力イ手ヲ以テ隣保相助ノ趣旨ト云フモノガ貫徹ヲ致シマシテ、思想ノ惡化ヲ防止スルニモ力ガアルト存ズルノデアリマス、サウ云フ範圍迄モ十七條ノ規定ヲ解釋シテ居ラレルノデアリマセウカ、一應伺ツテ置キタイ〇政府委員(相田岩夫君)此ノ十七條ノ第

二項デゴザイマスガ、是デ豫想致シテ居リマスモノハ、實ハ第一項ノ各號ニ屬シナイモノデ、何カ今後事態ノ如何ニ依ツテハ必要ナルモノガアルカモ知レヌト云フノデ設ケタノデアリマスガ、具體的ノ問題トシテハ豫想致シテ居リマスノハ、轉廢業者ノ屬シテ居リマス組合ガ轉廢業者ニ對シマシテ、相助ノ精神ニ依ツテ、一定金額ノ給付ヲ致シマス場合ニ、其ノ支拂資金ノ融通ヲ他カラ仰グ必要ガアル、ト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、此ノ金庫ガ第二項ニ基イテ之ヲ實行スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、一般的性質ノ資金ヲ組合ニ出スト云フコトニナリマスト、是ハ寧ロ既設ノ商工組合中央金庫ノ如キモノニ當ラセルノガ適當デハナイカト存ズル次第デゴザイマス

○山隈康君 法文ノ解釋カラ致シマスルト、今御示ノ通りニ存ジマス、私ノ御尋ヲスル如キ廣義ノ解釋ヲスルト云フコトハ許サナイモノト存ジマス、此ノ點ハ當局ノ方ニ於カレマンシテモ、何トカ一ツ御考ヲ願ヒマセヌカ、折角斯ウ云フ法律ヲ御作ニナリマシタガ、恐ラク私ハ此ノ更生金庫ガ實際非常ニ役立ッテ、中小商業者ガ此ノ爲ニ蘇生ノ思

ヒヲスルト云フ現實ノ效果ハ、或ハ少クナシテハナイカト云フコトヲ心配致シマス、從來此ノ種ノモノガ段々出來マシタケレドモ、ナカノ實際ニ政府ノ御期待ニナルヤウナ效果ハ生ジタ例モ少いノデアリマス、希望ダケヲ申シテ置キマス、更ニ御尋ヲ致シタイコトハ、十七條ノ第一ノ處分ト云フノハ、資產ノ管理又ハ處分ト云フノハ唯其ノ處分ヲ組合デ斡旋スルト云フダケデアリマスカ、或ハ組合自ラ買取りマシテ他ニ處置ヲスルコトモ含ムノデアリマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 管理又ハ處分ノ目的ヲ以テ所有權ノ移轉ヲ受ケマス場合及び所有權ノ移轉ヲ致シマセヌデ、單ニ管理處分ノミヲ委託セラル、場合ヲモ包含スルノデアリマス、實際ニハ主トシテ所有權ヲ移轉スル方法ニ依ルノガ大部分ト存ゼラレルノデアリマス、一定ノ評價ニ依ツテ其ノモノヲ買取ルト云フ方法ニ依ルノガ大部分ト考ヘテ居リマス

○山隈康君 ソレハ組合ガ買取ルト解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 更生金庫ガ買取ルノデアリマス

○山隈康君 ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、資產ノ評價委員、又ハ評價、アレハ現在ノモノニ對スル價格デゴザイマスカ、或ハ其ノ商賣ニ伴フ信用、暖簾、是ガ商賣デルノガ適當デハナイカト存ズル次第デゴザイマス

○山隈康君 法文ノ解釋カラ致シマスルト、ハ實際ノ有體財產、若シクハ商品ヨリモモット大キナ價值ヲ有スルモノデアリマスガ、是ハドウ云フ風ノ御取扱ニナル積リデアリマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 一應私カラ申上ゲマス、此ノ評價ハ動產、不動產ト舊業務用ノ資產デアリマシテ、不要ニナリマシタモ

リマスルト營業ヲ繼續スルモノトシテ評價ノヲスル、其ノ營業ヲ繼續スルト云フコトハ、シテノ妥當ナル價格ニ依ルト云フ方針デゴザイマシテ、從ツテソコニ動產、不動產ヲ個個バラノモノトシテハ觀マセヌノデ、一應營業ヲ繼續スルモノトシテノ妥當ナル價格ト言ヒマスカ、ソコニ評價ニハ營業權的ナモノヲ加味シタ評價ニナシテ來ルト、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○山隈康君 ソレデハ財產ト言ヘバ、其ノ營業ニ伴フ所謂法律上ノ包括財產ト解シテ宜シウゴザイマスカ、信用、暖簾、其ノ他營業ニ伴隨スル包括財產ト解スベキモノデアリマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 其ノ點ハ尙商工省ノ方ノ政府委員カラ御答ヘ申上ガタ方ガ宜イノカモ知レマセヌガ、個々ノモノヲ評價シテ引受ケルノデアリマスガ、其ノ場合ニ唯、例ヘバ自轉車ナラ自轉車、家屋ナラ家屋ト云フモノヲ其ノバラノモノトシテ評價スルモノデナクテ、ソレニ依ツテ營業ヲ繼續スルトシテノ價格ト見ルト云フ所デ、サウ云フ一々ノモノノ評價ニ營業權的ナ要素ガ加味サレテ來ルト思ヒマス、或ハ今ノ包括的ニト云フ言葉ヲ使ヒマスレバ、包括的ナ評價ニナルト申シテモ宜イノカト

○山隈康君 又ハノモノヲ括シテ財團的其ノ御規定ニ合ヒマスレバ誰デモ願ヒ出サヘスレバ一律公平ニ、申出ノ順ニ依ツテ貸出ノ御取扱ヲ爲サル御考デアリマスカ、或ハ其ノ事情ニ因ツテハ緩急ヲ考慮シテ、困ツテ同ジ理由ニ基イタ轉失業者ノ中ニモ自ラ經濟上ノ餘裕ヲ色々ノ差ガアルト存ジマスルシ、特ニ困ツテ居ルモノモ出テ來ルト思フノウナ御考デアリマセウカ、ト申シマスノハ、デアリマスガ、從來ノ金融機關ナラバ當然事務的ニ回収ノ確實ナ、信用ノ餘裕ノアル者ニ先づ貸スト云フノガ建前デアリマスケレドモ、此ノ本金庫ノ性質上、出來ルナラバ同業組合トカ、或ハ市町村長、或ハ方面

委員ナドガ斡旋シタ場合ニハ、特ニ優先的ニ迅速ニ扱ッテヤルト云フヤウナコトガ出来マスレバ大變此ノ金庫ノ運用ノ目的ヲ達スルダラウト思フノデアリマス、私ガ此ノ點ニ付テ何トカ方法ヲ御講ジ願ヘレバ結構ダト思ヒマスノハ、此ノ金庫ノ事務ガ忙ガシクナツテ參リマストサウ云フコトガ必要ニナツテ來ルダラウト思ヒマスシ、先程ノ御説明デモ此ノ金庫ノ事務ノ取扱ハ勸銀、其ノ他ノ既存金融機關ニ御委嘱ニナツテ、純粹ニ事務的ニ扱フト云フ御話デアリマスカラ、是等ノ點ガ何トカ制度化サレ、バ、社會政策のナ意味ヲ多分ニ含ンデ運用スルコトガ出來ルト思フノデアリマスガ、サウ云フ希望ヲ以テ此ノ點伺フ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 今朝程國民勤勞訓練所
竝ニ國民職業指導所ニ付キマシテ御尋ヲ致
シマシタ際ニ、大藏次官カラ一應ノ御説明
ヲ伺ヒマシテ大體了承シタノデアリマスガ、
尙厚生省ノ方カラ詳細同フト云フコトニ致
シテ居ツタノデアリマスガ、先程三島子爵ノ
質疑ニ對シテ厚生省ノ方カラ相當詳シク御
説明ニナリマシタノデ、其ノ點ハ以上御
伺ヒ致サナイコトニ致シマス、實際御聽キ
シタイト思ツテ居ツタノハ是等ノ兩所ノ組織
機構トカヘ或ハ人的要素トカ云ツタヤウナ點
ニ付テ伺ヒタイト思ツテ云ツタノデアリマス
ガ、ソレハ取止メルコトニ致シマス、尙先
程山隈委員カラ御尋ニナツテ居リマシタコ
トニ關聯致シマシテ、同様ノ問題デアリマ
スガ、重ネテ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ
無資產ノ轉廢業者ノ救濟、轉業ヲ圖ルト云
フコトガ實際非常ニ必要デアラウ、又其ノ
數モ相當多數デアラウト思ヒマスルノデ、
寧ロ本法ハ斯ウ云々タ無資產ノ轉廢業者ヲ
救フ途ヲ拓イテコソ其ノ效果ヲ大キクスル
ノデナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマ
ス、處ガ先程山隈委員ノ質疑ニ對シテ、政
府委員ノ御答ニナツテ居ツタ其ノ御答辯ヲ見
マシテ、實ハ大イニ安心シタノデアリマス、
ソレハ大體營業ヲ繼續スル者ト云フ意味ノ
中ニ所謂營業權ト云フモノヲ認メ、或ハ又
店舗ノ所在地ニ於テハ之ヲバ認ヌルト云フ
御答辯ガアツタヤウニ伺ヒマシタノデア
リマス

マシテハ營業權ト云フ言葉ハ甚ダ不穩當デ
ヤナカラウカト思フノデアリマス、併シ營
業持續ヲシテ來テ居ツタ其ノ店ニ對シマシ
テ「グッド・ウイル」ヲ認メル、暖簾トシテ之
ヲ認メルト云フコトハ既ニ商習慣トナツテ、
現在行ハレテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ營
業權トカ云フヤウナ不穩當ナ言葉ヲ以テス
ルヨリモ暖簾トシテ之ヲバ明カニ認メテヤ
ル、暖簾トシテ之ヲ認メテ融資スル、ソレ
ニ依テ無資產者ノ轉廢業ノ救濟ヲスルト
云フコトニシテ戴イタナラバ、ハッキリ致シ
マシテ徹底シヤンナイカ、斯様ニ思ヒマス
ノデ、其ノ點ニ付キマシテ重複スルヤウデ
アリマスガ、重ネテ御伺ヒ致シタイト思ヒ
マス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ大藏次官ノ御答
辯ニ満足ノ意ヲ表シマス、希クバ「グッド・ウ
イル」トシテ暖簾代トシテソレヲ認メルト
云フコトニ相成ルヤウナコトニ御力ヲ入レ
ラレムコトヲ希望致シテ置キマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 國民貯蓄組合
法案及國民更生金庫法案ニ付テノ御質問ハ
大體終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマ
スカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○委員長(伯爵堀田正恒君) 明日ハ午前十
時カラ開會致シマスガ、日本勸業銀行法中
改正法律案外二件ヲ議題トシテ御質問ヲ願
ヒタイト思ヒマス、若シモ已ムヲ得ナケレ
バ國民更生金庫法案及國民財蓄組合法案ノ
御質問ヲ願ツテモ宜シウゴザイマスガ、大體
ハ終了シタモノト認ヌマス、本日ハ是デ散
會致シマス

午後三時三十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君	副委員長 男爵松平外興麿君	委員 侯爵前田 利爲君	侯爵筑波 藤麿君	侯爵久我 通顯君	子爵梅園 篤彦君	子爵三島 通陽君	子爵由利 正通君	宇佐美勝夫君	河原田稼吉君	男爵加藤 成之君	男爵西 酉乙君	大塚 惟精君	山隈 康君	岩元 達一君
--------------	---------------	-------------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	--------	----------	---------	--------	-------	--------

政府委員

大藏次官

廣瀨

豐作君

大藏省主稅局長

松隈

秀雄君

大藏省銀行局長

相田

岩夫君

大藏書記官

河野

一之君

同

坂口

芳久君

同

山際

正道君

國民貯蓄獎勵局次長

栗原

修君

商工省振興部長

堀

義臣君

厚生省職業局長

内藤

寛一君

保險院長官

樋貝

證三君

保險院簡易保險局長

前田

穰君